

暮らしへの影響に関する調査報告書

三重県生活協同組合連合会

2020年12月4日

はじめに

本報告書は、三重県生活協同組合連合会が、会員生協組合員の協力を得て、「暮らしへの影響に関わる調査」の結果をまとめたものである。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい感染者は増え続け、その増加ペースも速まっています。国内においても感染者が増え続けており、多くの尊い命が奪われています。

感染を避けるために、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避や、不要不急の外出、経済活動の自粛等が求められてきました。

また、2019年10月に消費税が10%へと増税され、経済的負担が大きくなっている上に、新型コロナウイルス感染症のひろがり等が重なり、消費者の暮らしにも様々影響がでています。

今回、新型コロナウイルス感染症等により組合員（ご家族）の暮らしにでている影響を調査し、1376世帯の組合員から回答をいただきました。

消費者の新型コロナウイルス感染症への感染と、経済や雇用の維持などへの不安、日々の様々な自粛生活がストレスを生み出し、広がっています。

また、多くの組合員が、新型コロナウイルス感染症への感染を抑えるワクチンの開発を期待する一方で、消費税の減税等による経済と家計の回復を期待しています。

消費者の暮らしが厳しさを増している中、組合員が願う「よりよいくらし」の実現のために、生活協同組合どうしの連帯と、行政や地域の方々との連携、協同組合間の協同で、県民の暮らしを守る必要があるのではないのでしょうか。

本調査に関わってご協力をいただいた会員生協のみなさまに感謝を申し上げますと共に、この報告書が、組合員や消費者の暮らしを守るための一助になれば幸いです。

2020年12月

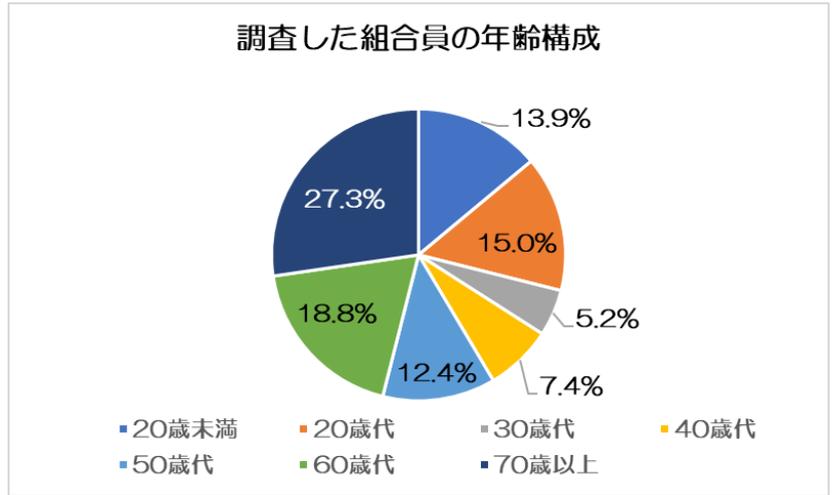
三重県生活協同組合連合会
理事会

も く じ

1、調査した組合員の年齢構成	1
2、世帯構成について	1
3、職業等について	1
4、業種別の雇用、労働時間の変化について	2
5、新型コロナウイルス感染症等による暮らしへの影響について	
1) 生活状況	3
2) 厳しい暮らしの要因	3
3) 市町別の生活状況	4
4) 年代別の生活状況	5
6、経済的な影響や不安なことについて	6
7、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 普段と異なる暮らしの中で不安に感じることに ついて	7
8、新型コロナウイルスへの対策や社会保障、消費税等、 政府や行政に望むことについて	8
9、地域や近隣で助け合いが必要と思うこと	9
＜資料／組合員の声＞	
資料1、経済的な影響や不安について	10
資料2、新型コロナウイルス感染拡大により 普段と異なる暮らしの中で不安に感じることに ついて	17
資料3、新型コロナウイルスへの対策や社会保障、消費税等、 政府や行政に望むこと	31
資料4、地域や、お住いの近隣で助け合いが必要と思われること	45

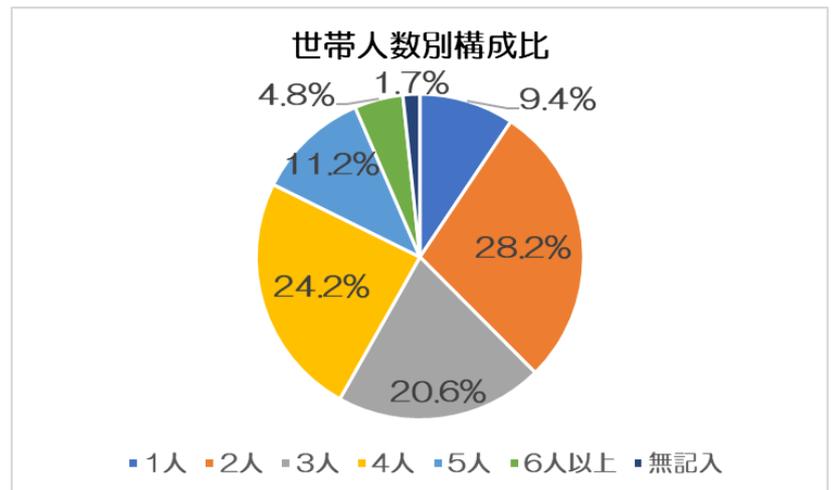
1、調査した組合員の年齢構成

年代	件数	構成比
20歳未満	191	13.9%
20歳代	207	15.0%
30歳代	71	5.2%
40歳代	102	7.4%
50歳代	171	12.4%
60歳代	258	18.8%
70歳以上	376	27.3%
計	1,376	100.0%



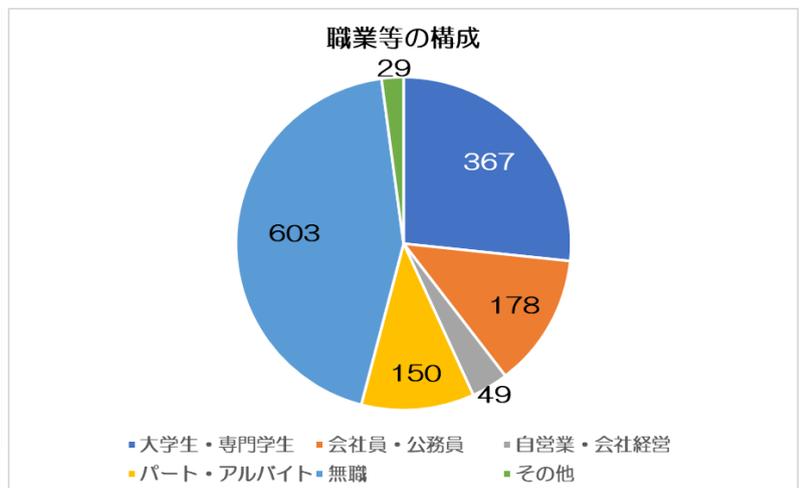
2、世帯構成について

世帯人数	件数	構成比
1人	129	9.4%
2人	388	28.2%
3人	283	20.6%
4人	333	24.2%
5人	154	11.2%
6人以上	66	4.8%
無記入	23	1.7%
計	1,376	100.0%



3、職業等について

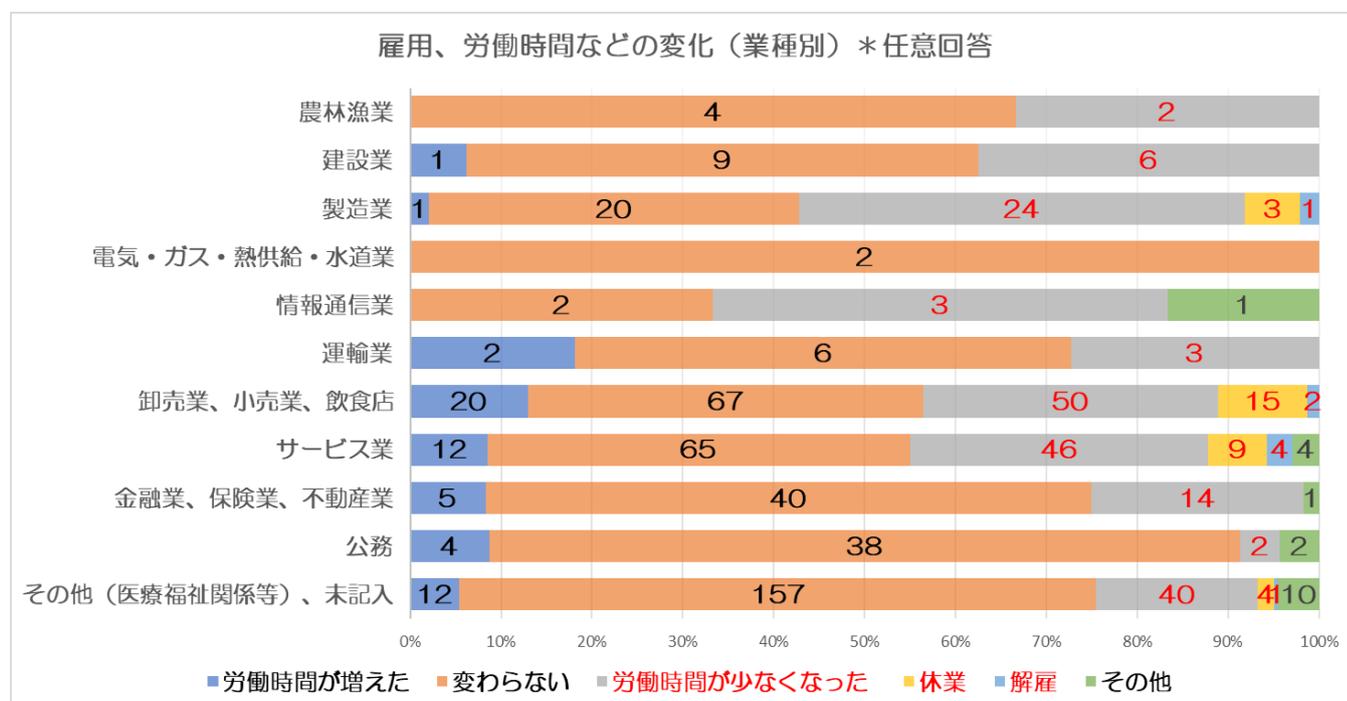
職業等	件数	構成比
大学生・専門学生	367	26.7%
会社員・公務員	178	12.9%
自営業・会社経営	49	3.6%
パート・アルバイト	150	10.9%
無職	603	43.8%
その他	29	2.1%
計	1,376	100.0%



4、業種別の雇用、労働時間の変化について

*任意回答

業種	全体	労働時間増加	変わらない	労働時間減少	休業	解雇	その他
農林漁業	6	0	4	2	0	0	0
建設業	16	1	9	6	0	0	0
製造業	49	1	20	24	3	1	0
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0	2	0	0	0	0
情報通信業	6	0	2	3	0	0	1
運輸業	11	2	6	3	0	0	0
卸売業、小売業、飲食店	154	20	67	50	15	2	0
サービス業	140	12	65	46	9	4	4
金融業、保険業、不動産業	60	5	40	14	0	0	1
公務	46	4	38	2	0	0	2
その他(医療福祉関係等)、未記入	224	12	157	40	4	1	10
計	714	57	410	190	31	8	18



5、新型コロナウイルス感染症等による暮らしへの影響について

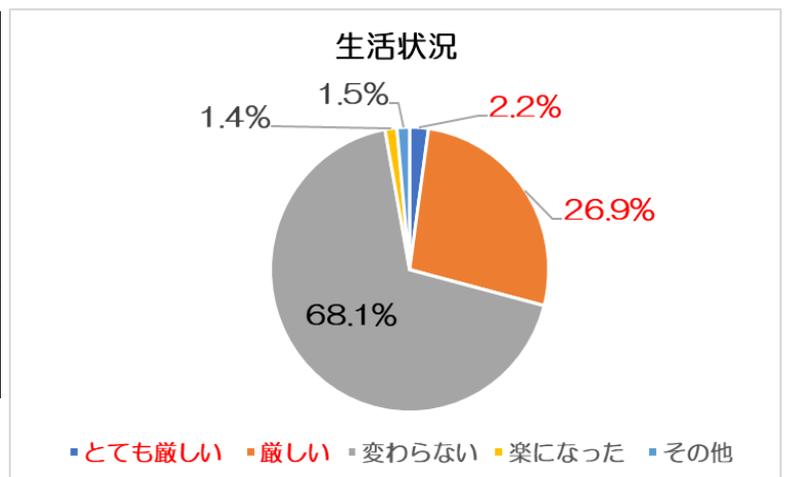
調査の結果から29.1%の消費者が、暮らしが厳しいと回答しており、3～4世帯に1世帯が厳しい状況にあることが分かります。特に、大学生までの子どももつ30歳代～50歳代の暮らしが経済的に厳しくなっており、どの年代も30%を超えています。

暮らしが厳しくなった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減と、消費税の増税による支出の拡大が挙げられ全体の70%以上を占めます。

1) 生活状況

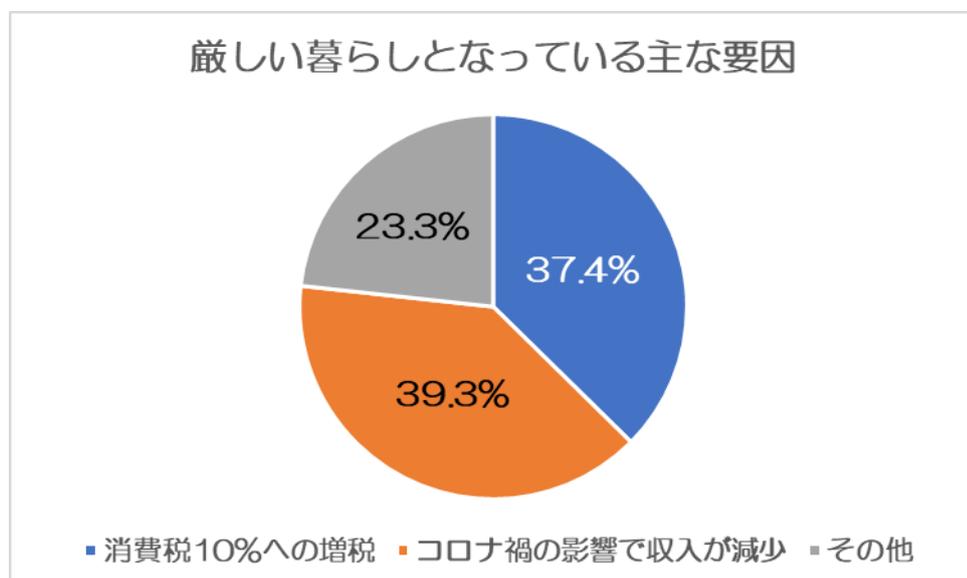
生活状況	件数	構成比
とても厳しい	30	2.2%
厳しい	370	26.9%
変わらない	937	68.1%
楽になった	19	1.4%
その他	20	1.5%
計	1,376	100.0%

*その他（不自由な暮らし等）



2) 厳しい暮らしの要因

厳しい暮らしの要因	件数	構成比	対件数 (400)	対全体 (1,376)
消費税10%への増税	156	37.4%	39.0%	11.3%
コロナ禍の影響で収入が減少	164	39.3%	41.0%	11.9%
その他	97	23.3%	24.3%	7.0%
計	417	100.0%	104.3%	30.3%



3) 市町別の生活状況

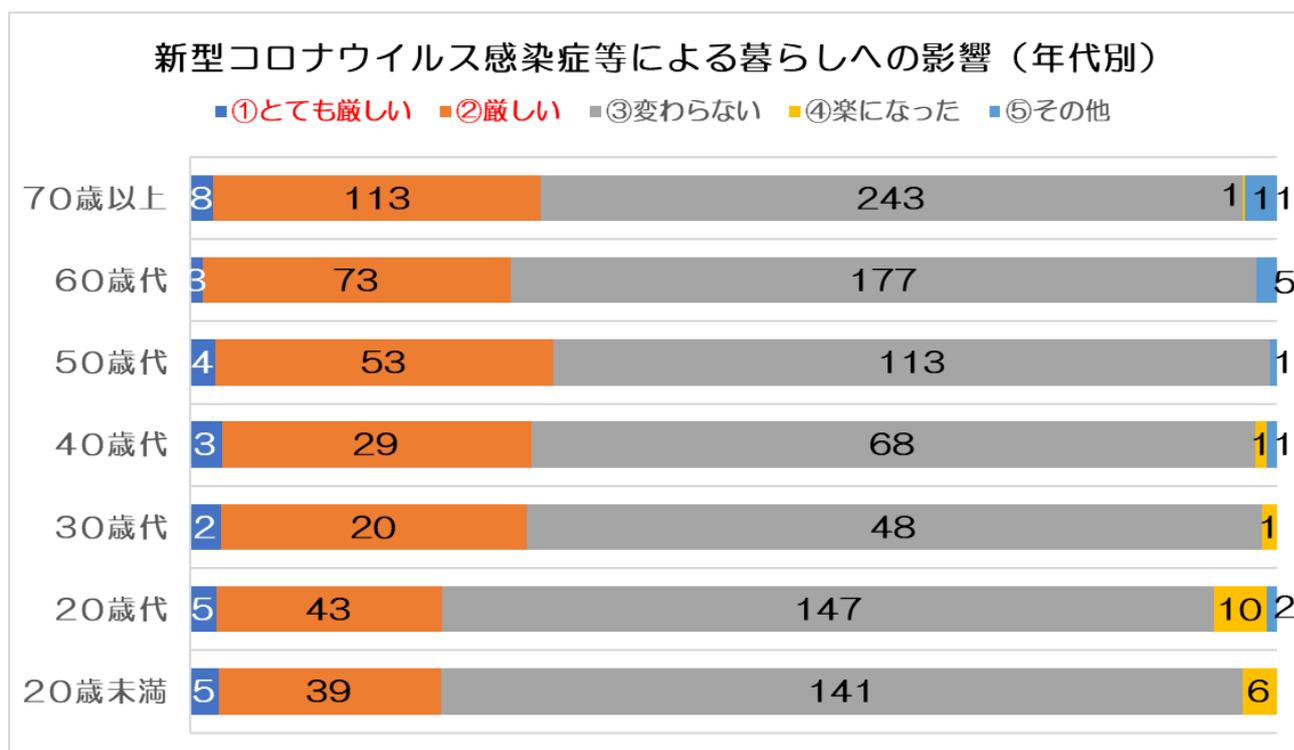
*は、「とても厳しい」と「厳しい」を合わせた構成比

市町	件数	とても厳しい	厳しい	変わらない	楽になった	その他	*
桑名市	73	1	28	43	0	1	39.7%
いなべ市	30	1	9	20	0	0	33.3%
四日市市	196	6	53	136	0	1	30.1%
亀山市	32	0	11	21	0	0	34.4%
鈴鹿市	117	2	33	77	2	3	29.9%
津市	411	13	111	271	11	5	30.2%
松阪市	91	2	23	65	1	0	27.5%
伊勢市	68	3	17	46	0	2	29.4%
鳥羽市	1	0	0	1	0	0	0.0%
志摩市	12	0	2	10	0	0	16.7%
尾鷲市	5	0	0	4	0	1	0.0%
熊野市	15	0	4	11	0	0	26.7%
伊賀市	46	0	8	35	0	3	17.4%
名張市	48	0	11	36	0	1	22.9%
木曾岬町	0	0	0	0	0	0	0.0%
東員町	20	0	7	12	1	0	35.0%
大安町	1	0	0	1	0	0	0.0%
川越町	5	0	1	4	0	0	20.0%
朝日町	6	1	0	5	0	0	16.7%
菰野町	45	0	12	31	0	2	26.7%
明和町	12	0	6	4	2	0	50.0%
玉城町	6	0	1	5	0	0	16.7%
度会町	5	0	2	3	0	0	40.0%
多気町	6	0	2	3	0	1	33.3%
大台町	3	0	0	3	0	0	0.0%
南伊勢町	2	0	0	2	0	0	0.0%
大紀町	4	0	3	1	0	0	75.0%
紀北町	3	0	2	1	0	0	66.7%
御浜町	5	0	0	5	0	0	0.0%
紀宝町	1	0	1	0	0	0	100.0%
県外	81	1	14	65	1	0	18.5%
無記入	26	0	9	16	1	0	34.6%
計	1,376	30	370	937	19	20	29.1%

4) 年代別の生活状況

*は、「とても厳しい」と「厳しい」を合わせた構成比

年代	件数	構成比	とても 厳しい	厳しい	変わら ない	楽に なった	その他	*
20歳未満	191	13.9%	5	39	141	6	0	23.0%
20歳代	207	15.0%	5	43	147	10	2	23.2%
30歳代	71	5.2%	2	20	48	1	0	31.0%
40歳代	102	7.4%	3	29	68	1	1	31.4%
50歳代	171	12.4%	4	53	113	0	1	33.3%
60歳代	258	18.8%	3	73	177	0	5	29.5%
70歳以上	376	27.3%	8	113	243	1	11	32.2%
計	1,376	100.0%	30	370	937	19	20	29.1%



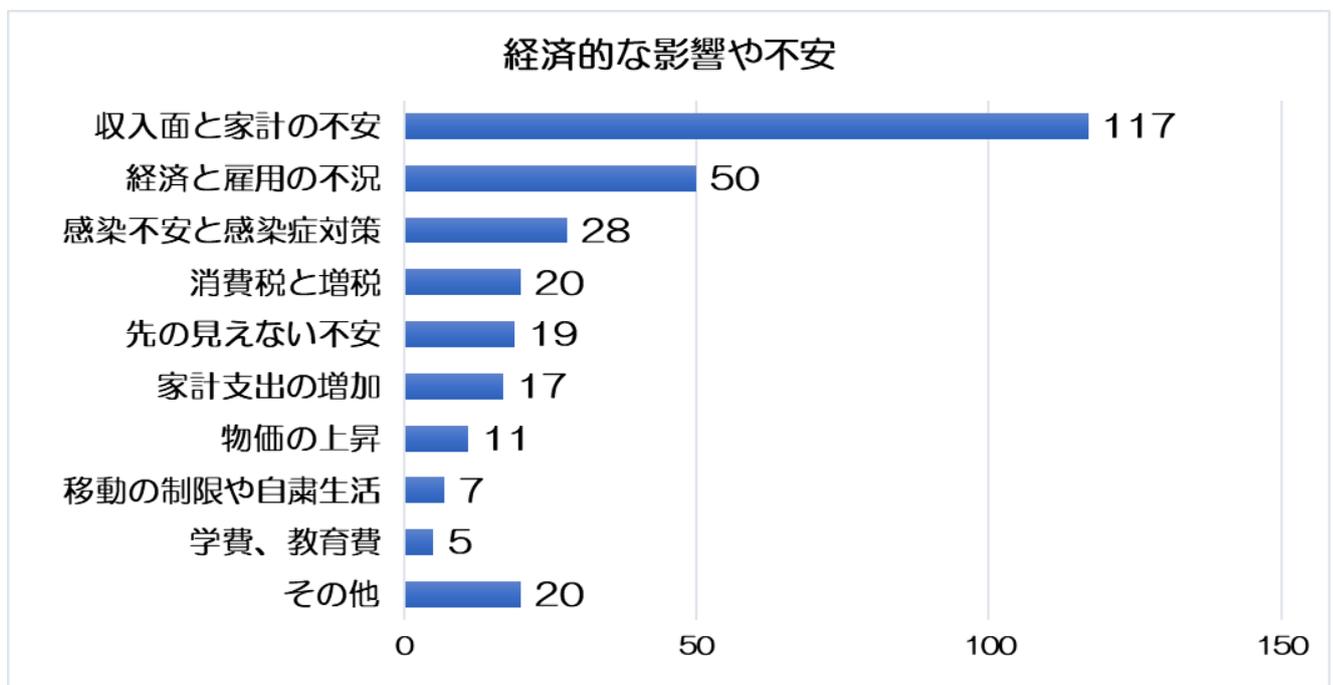
6、経済的な影響や不安なことについて

294人の組合員から回答があり、以下の表の通り10のカテゴリーに分類しました。

収入の減少や家計の支出増とやりくり、今後の経済や会社などの存続と雇用に関わること、新型コロナウイルスの感染と感染症対策、消費税の負担と増税への心配が、ほぼすべての年代で不安の要因になっています。

特に、20歳代～50歳代にかけて就職や仕事の減少を懸念する不安が多く、60歳代以上では年金の減額などを心配する不安が多くなっています。年代が上がるほど、不安要因も増えているのが特徴です。

経済的な影響や不安	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
収入面と家計の不安	6	14	8	12	29	26	22
経済と雇用の不況	1	3	2	10	13	14	7
感染不安と感染症対策	0	2	3	4	3	9	7
消費税と増税	1	1	1	2	1	4	10
家計支出の増加	0	1	2	3	1	4	6
先の見えない不安	0	0	1	2	6	8	2
物価の上昇	0	0	1	0	1	5	4
移動の制限や自粛生活	0	0	0	3	1	3	0
学費、教育費	0	1	0	1	3	0	0
その他	4	1	0	2	1	3	9



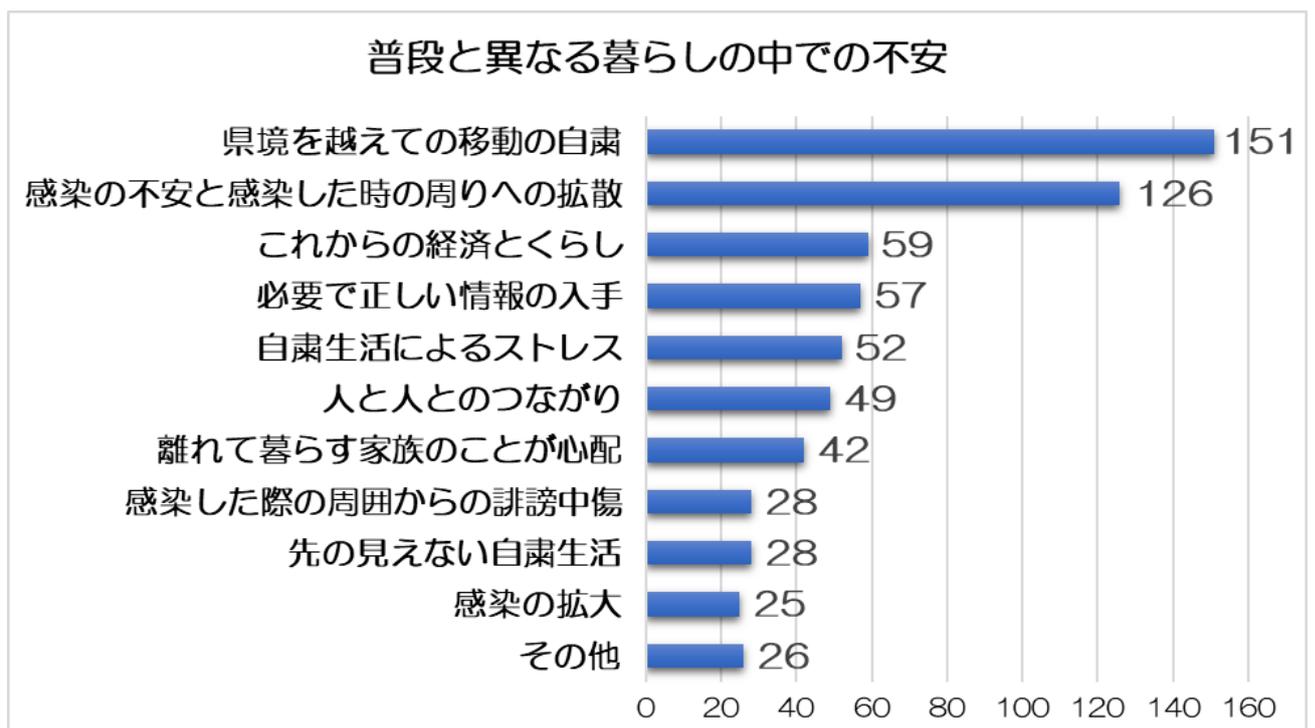
7、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により普段と異なる暮らしの中で不安に感じる ことについて

643人の組合員から回答があり、以下の表の通り11のカテゴリーに分類しました。

県境を越えての移動に伴う新型コロナウイルスへの感染リスクから、県外で暮らす子どもや親に会いに行くことができないといった不安が一番多く、いつ感染するか分からない不安と感染してしまった場合に周りの方々へうつしてしまうかもしれないといった不安が多いです。学生は、大学の授業がリモートになっていることから学生どうしの対面での接点がないことの不安が大きく、60歳代以上では正確に必要な情報を得ることの不安や、人との関わりが希薄になっていることに、不安が大きくなっています。

また、これからの経済や暮らし、ステイホームによるストレス、感染した際の誹謗中傷などは、年代を問わず不安の声が挙がっています。

普段と異なる暮らしの不安	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
県境を越えての移動の自粛	3	13	8	15	38	42	32
感染の不安と感染した時の周りへの拡散	3	12	8	12	22	32	37
これからの経済と暮らし	5	7	4	9	10	13	11
必要で正しい情報の入手	0	4	1	3	7	20	22
自粛生活によるストレス	1	7	8	6	8	14	8
人と人とのつながり	15	6	1	0	4	13	10
離れて暮らす家族のことが心配	0	0	2	3	12	15	10
感染した際の周囲からの誹謗中傷	1	3	4	5	8	4	3
先の見えない自粛生活	2	6	4	2	5	7	2
感染の拡大	2	5	0	1	5	5	7
その他	0	8	1	2	4	5	6



8、新型コロナウイルスへの対策や社会保障、消費税等、政府や行政に望むことについて

591人の組合員から回答があり、以下の表の通り16のカテゴリーに分類しました。組合員から出された要望や意見は、消費者の暮らしを守り、地域で安心して暮らし続けていくために必要なことを政府や行政に求めています。

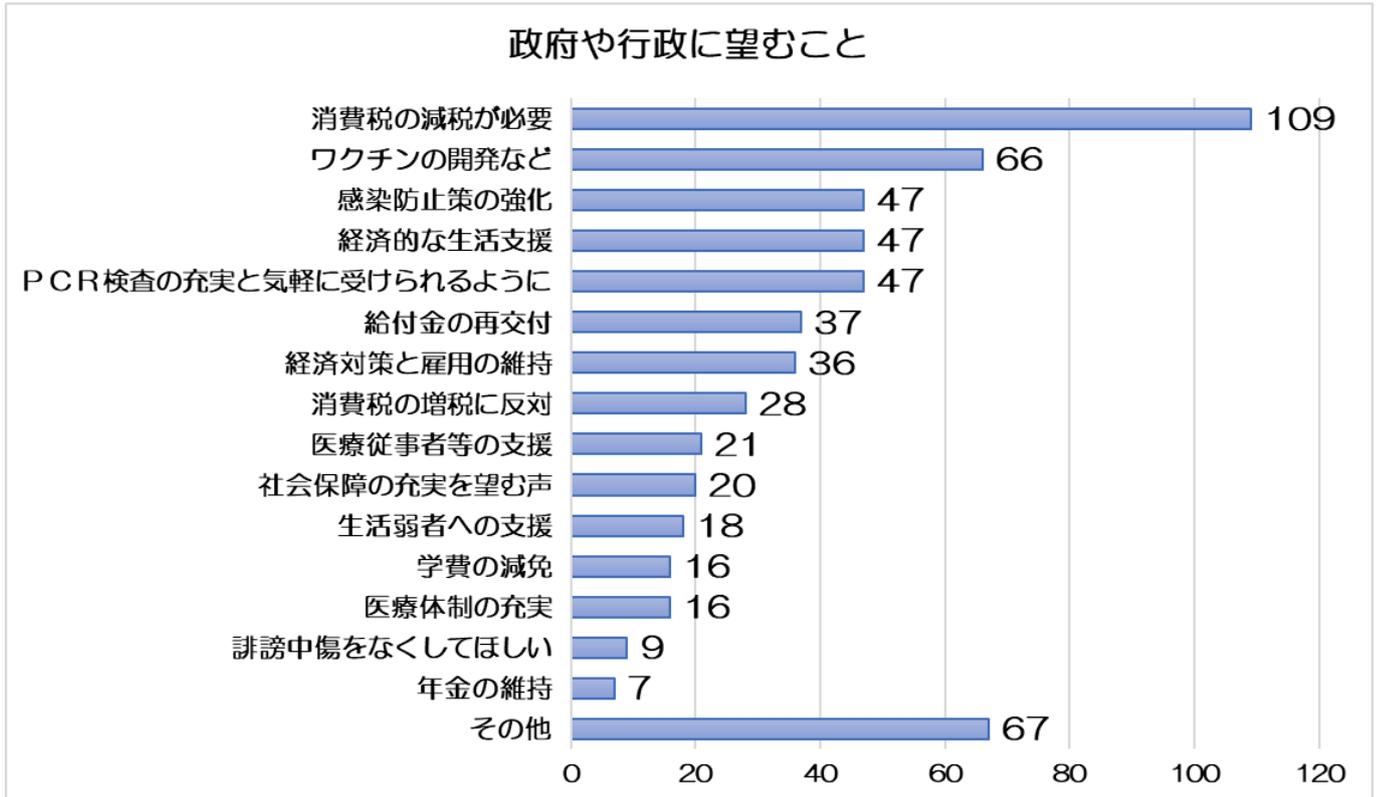
その中でも、消費税の減税を求める声が、どの年代でも上位を占め圧倒的に一番多い要望となっています。

40歳代以上では、ワクチンの早期開発や、PCR検査の充実と地域の診療所や病院でPCR検査ができるよう求める要望が多くなっています。また、消費税の増税に反対する意見や、医療従事者や介護施設の従事者等への手厚い支援、社会保障の充実、医療体制の充実、生活弱者への支援を求める要望も多いのが特徴です。

大学生は、消費税の減税と、給付金による支援を求める要望と、親世代も含め学費の減免を求める要望が多くなっています。

感染防止策の強化や、経済面での生活支援、企業や店舗の経営維持に向けた経済対策と雇用の維持、新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷がなくなるよう求める要望は、ほぼどの年代の組合員からも要望が出ています。

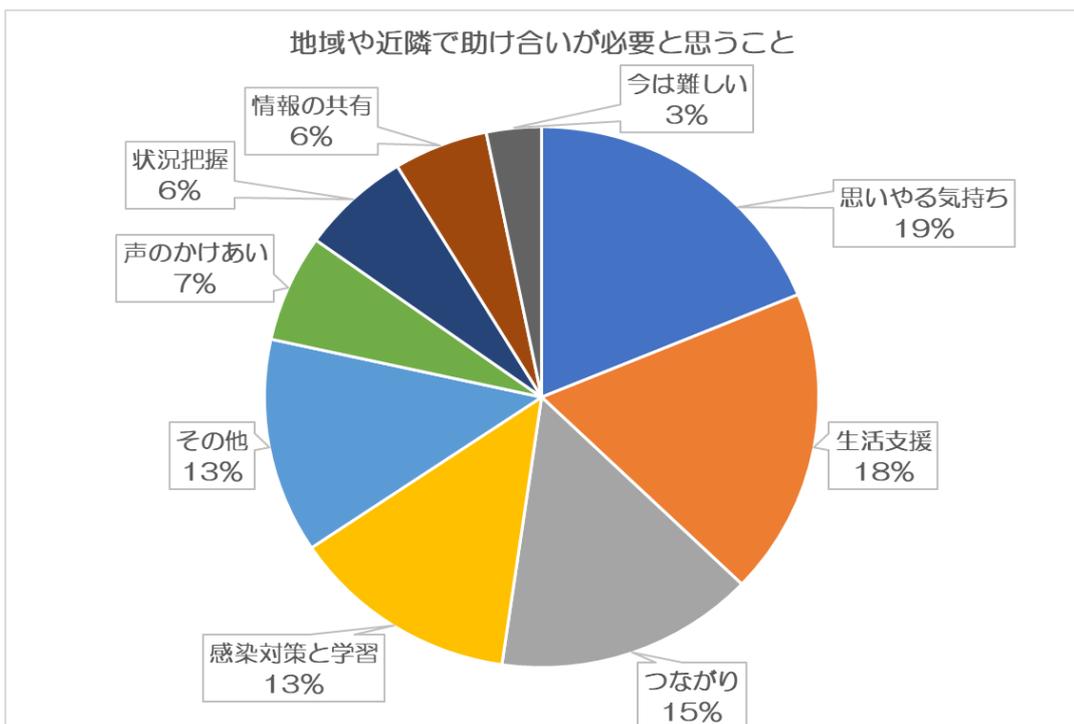
政府や行政に望むこと	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
消費税の減税が必要	4	14	4	11	15	30	31	109
ワクチンの開発など	0	0	2	5	12	24	23	66
感染防止策の強化	1	7	5	4	10	9	11	47
経済的な生活支援	3	2	5	4	10	16	7	47
PCR検査の充実と気軽に受けられるように	2	2	0	4	10	16	13	47
給付金の再交付	7	13	5	2	2	4	4	37
経済対策と雇用の維持	4	2	5	3	6	7	9	36
消費税の増税に反対	0	1	1	4	2	11	9	28
医療従事者等の支援	0	1	1	2	1	11	5	21
社会保障の充実を望む声	1	1	1	2	3	7	5	20
生活弱者への支援	0	0	0	2	3	7	6	18
医療体制の充実	0	1	1	0	2	9	3	16
学費の減免	1	7	0	1	6	1	0	16
誹謗中傷をなくしてほしい	0	1	2	1	1	3	1	9
年金の維持	0	0	0	0	2	2	3	7
その他	3	7	3	5	10	15	24	67



9、地域や近隣で助け合いが必要と思うこと

218人の組合員から回答があり、以下の表の通り9のカテゴリーに分類しました。

思いやる気持ち	41	生活支援	40	つながり	33
感染対策と学習	29	声のかけあい	14	状況把握	14
情報の共有	12	今は難しい	7	その他	28



<資料／組合員の声>

資料 1、経済的な影響や不安について

*同じ意見はまとめています。

不景気で就活がうまくいかなかった時の生活が不安
大学の規定で飲食アルバイトができないこと。その中でも飲食でアルバイトしている人がいる可能性を思うとやるせない。
生活が苦しい。
食費、書籍購入費を削減せざるを得ない状況です。
収入がなく大学に行けません。
研究室に行くためにバイトができない。
学校から学生に対してアルバイトの規制がありアルバイトでの収入が激減した。
労働時間短縮により残業手当の減少
来年度の給与とボーナスが引き下げられないか心配。
来客が減り収入が減った。
予備校試験官等のバイト機会がコロナで減少
家賃収入がコロナの影響によって収入減となった（休業）。
もしもの時に休まなければならないと給料がなくなること
身内の収入が減額したことによる影響
ボーナスが半減する。これから先の生活が不安です。
ボーナスがなくなる不安はあります。
ボーナスがカットされたこと
保育園への入園に不安があったため配偶者の仕事復帰を延期した。世帯収入に影響がでている。
冬のボーナスが減額になるようです。
派遣社員のため派遣切りになるのではと不安がある。
バイト代が減ったこと
バイトできないのでお金がない。
配偶者が製造業のため少々仕事が減っている。夏賞与はあったが冬があるか心配
年金や保険料
年金の減額が不安
年金の減額はないでしょうか。
年金の減額がないことを願います。
年金の減額がないか不安
年金のカット
年金に変動があると心配
年金などに影響を及ぼす可能性が心配
年金だけでは不安
年金生活なので支給額が減らないように
年金生活で介護保険料の支出も大変です。配偶者の年金からは本人の介護保険料と二人の国民健康保険料を支払い高くて生活が厳しいです。
年金生活でボランティアの活動が多くなり、だんだん生活が苦しくなってきた。

年金収入で生活している。コロナのため減額されるのではないかと不安を感じる。
年金が減らないことを望む。
年金が少なくなっていくのではと心配
年金額の変動が不安です。
年金額が少ない。
年金がいつか減らされるのではないかと心配です。
賃金、年金の減額
将来、年金が削減されるのではないかと不安
将来、給料が下がるのでわないか。
主人の収入が減って未だに回復していません。
主人の仕事は出勤日数が減り多少給与にも影響が出ている。
主人の給料やボーナスに影響がでてくるのではないかと不安です。
主人の会社の残業規制が始まった。今後の経済的な変化が不安
収入は減ったが税金は変わらない。
収入減を貯金の取り崩しでしのいでいる。いつまで続けることができるのか不安
収入減、パート・アルバイトから順に解雇されている。いつ我が家か・・・
収入が減り、この状況が長引くと不安になる。
収入が減り、外出もできず家で過ごす時間が増えた。
収入が不安定になる可能性がある。
収入がいつ元に戻るか不安である。
住宅ローンが心配
仕事量激減の為収入減少
仕事は3～5割減に、夫は0になった。年金がなければ厳しい状況になる。
残業がなくなり給与が減ったので今後が不安
残業がなくなった。家族の就業先が休業になり収入がなくなった。
今後の年金
今後の賃金動向
今後の給与
今後、給料が減り税金が増えることで生活費が今までよりもかかることになる。
今後、民間賃金にあわせて一時金での削減が考えられる。
コロナ前の収入の50%以下になった。学生向け給付金を受けることができず生活がとても苦しかった。
コロナの関係で大学から飲食店でのアルバイトの自粛を求められておりアルバイトができないこと。
コロナによる収入減に不安
コロナで受診控えが多く収入としては苦しい状態
コロナ禍の影響で年金が下がるとか、税金が上がるとか年金だけの生活のため不安です。
コロナが落ち着くまで税金関係、ローン関係をストップしてほしい。
これから年金が、少なくなるのではないかと不安
このまま低収入の状況が続くのではないかと不安
この先状況が悪化し、もしくは長引いた場合、世帯収入がさらに減るのではないかと不安
この先、不況になると年金が減額されるのではないかと不安になる。

子どものいる家庭などは収入減で困っています。
現状に変化はないが、この先の暮らしは経済面で不安
現在より収入が減ると困る。
現在の状況が長期化した場合の収入減の不安
月謝が入りません。
経済的な不安
金銭面
給料、ボーナスカットがあっても小中高の学費は普通に請求、きつい。
給与取得家族の賞与・給与減額
休業手当が9月まで、この先どうなるのか不安
休業が長引くと生活に響く。家族がコロナに感染しないか不安である。
感染＝収入減のため精神的に疲れる。子どもの就職先が見つからない。
家族みんな残業がなくなり家にいる時間が増えたので長期に続くと貯蓄が心配
家族に発熱などの体調不良があると健康な家族も休みになってしまうため収入の面で不安がある。
家計のやりくりが大変です。
お店自体の収入が減ると自分のお給料がもらえるか心配です。
夫の収入がコロナのため減ったので数年後には生活に影響が少しあると思います。
夫が無収入になったり、健康状態に問題が起きた時、生活していけるのか不安です。
今は休業補償があるがいつまでもらえるのか不安
今の状況が続く場合、年金も削られたりするのでは？と心配になります。
アルバイト収入が少ない。
アルバイトのシフト減少
5月に収入が激減した。持続化給付金を申請し給付された。仕事が減っているので来年が心配です。
不況が長引けば、今後、悪影響が想定される。
就職口の減少
来年3月までは働けることになったが、その先は不透明
物資がなくならないか心配
一人暮らし年齢的に働けるところも少し、子どもや親類もなく年金も少なく、働けなくなったら不安
販売が厳しくなった。
働き世代の収入がコロナ禍以前の水準に戻るのか心配です。
日本全体がどうなるのか不安
日本経済が不景気になり失業者が増えたり、さらなる消費税増税にならないか不安である。
生産者の困窮、倒産により少ない国内自給率がさらに少なくなり食料危機が心配です。輸入頼りの日本の食料が心配です。国内生産量を上げる援助を国がしてほしいです。
食品の不足などが深刻にならないとよいが
職探しが困難
主人の仕事への影響
社会的に経済が厳しい状況なので不安はあります。

仕事がなくなるのが不安
仕事がなくなるかもしれない。
取引先の売上にも左右されます。8月ころから売上が減少しており給料がだせるのか不安です。子どもが3人おりうち2人は大学生で学費も数年は必要となりとても不安です。
今後の景気
コロナの影響で給与を抑えたいため育休復帰後の労働時間を少なくしてほしいと言われている。
コロナの影響が長引くと仕事がさらに減っていくのではないか心配
コロナ禍の影響で経済が回らなくなり国が大きな赤字で、この先どうなっていくのか心配
コロナ禍が長引くと経済が心配
コロナ禍がいつまで続くのか不安に感じる。将来にも大きく影響があるように感じる。
これから職種によって順に襲ってくる不景気
雇用や労働時間が減ると生活が不安
雇用内容が変わった。
雇用状況の悪化に伴う収入の減少傾向
このままの世の中だと社会の安全安定普通の暮らしが守られないように思い不安
この地域でコロナが流行してきたとき、経済にどう影響するのか見えないので不安
この先、仕事がどうなっていくのか不安
子どもの就職先が見つからない。
子どもの就職活動が心配
子どもの就職が心配
経済では物価がどうなっていくのか不安である。コロナ禍で自分たちの生活がどうなっていくのか心配である。
経済活動の低迷が続き、社会不安、増税、社会保障などの低下、暮らしつらくなるのではないのでしょうか。
経営者の方の気持ちを思うと辛いですし、その事に対して不安感は否めません。
勤務先の来客が減り売り上げが落ち込んでいるため、いつまで勤めることができるのか不安になります。収入は減っているのに子ども二人にかかる学費はそのままなので収入に占める割合が高くなり家計がたいへん苦しく思う。
業績の悪化
休業が多くなると大変だと思います。
感染者が出ると休業になるため生活が厳しくなる。
観光客が減り売り上げが半減している。これからの生活が不安
会社の倒産で収入が減り、消費が落ち込んでいる。
売上の下落
イベント活動が中止、自粛が相次いでいる。コロナ終息後に会社が倒産してしまわないか不安
アルバイトや就職の求人
跡取りのいない自営業の方は、この際だからとお店を閉められたと聞きました。田舎のお店が少なくなっていくのは寂しいです。
いつコロナにかかるかの心配と、かかった時にどうなるのかの不安があります。
外出が制限され運動不足、ストレスが溜まってくる。

外出がむずかしく、行動しづらく、病院へ行くのも不安
外食や店で買物する機会が減少した。
感染することへの不安
感染対策に気をつけている。
口に入る職業の方はコロナに敏感だが、それ以外の職業の方はそれほどでもないと感じる。
高齢で持病があるので感染すると大変なことになる。
コロナウイルスの情報に少し慣れて心の中で「これくらいなら」といった感覚が増えていくのではないかと不安があります。
コロナに対する不安
コロナ不安で生活が安定しない。精神的に不安定
今後も感染が広がって学校などに影響がでてくるのか。
施設でコロナが出てしまうとクラスターになるため気をつけているが、毎日が不安である。
消毒液やマスクがなくなることが心配です。
職場で感染者が出た場合、閉鎖になる可能性がある。重症化した際の受け入れ先があるのか心配する。
ステイホームによる健康不安と運動不足、職場の事業縮小、県境を越えての移動自粛制限で活動への参加機会の減少、施設入居の家族との面会禁止
接客業のためお客さんから感染しないか不安
働く場はあってもコロナへの不安で今までのように働けないことが不安
彼岸やお盆に行事が開催できなかった。
人の動きが多くなったので感染が心配です。
マスク着用で買い物に出かけるのがおっくうになる。
マスクを着用していない若者が多い。
マスクをつけての仕事がたいへん
マスクをつけるのが面倒
もし感染したら家族との生活はどうなるか不安
10%への増税はかなり厳しい。毎月赤字で先行きが不安です。
経済的損失をどう取り戻していくか、配られているお金が将来の増税につながる不安
コロナ対策による出費を補うための増税があると年金生活なので苦しくなりそうで心配です。
今後の消費税増税や年金の減額が不安、若い世代が経済的に困窮することで高齢世代への負担や不安も増す。
今後の消費税の増税
今後の増税が不安
消費税10%はきつい額です。
消費税10%は厳しい。
消費税10%は大変です。
将来の増税が不安
生活に密着した消費税10%は厳しい。
税金を使っただけの救済援助、今後の増税が心配

特別定額給付金が後に何らかの形で響くと困ります。
年金の削減、介護・医療保険の値上げ、消費税10%の影響などで使えるお金が無くなっている。
増税が心配、10%を超えると一人暮らしはかなりしんどくなる。
夫の在宅勤務日数が増え食費が増加した。
介護保険給付外しの対象が段々広がっていくニュースを聞いて生活支援をどうしたらよいか。
学校長期休暇の時は、家にいる時間が長く子どもの食費等が増えた。
後期高齢医療費（保険料）が高くなった。
消費税が高いから品物を買えない。
除菌グッズなどの出費
年をとるにつれ病院代が大きい。
日常生活での必要な支出以外は少なくあってほしい。
二人暮らしで一人入院、生活費に自由がない。
マスクや消毒液などの余分な出費
もともとアルバイトはせず全額奨学金に頼っていたのだが、支出は増加する一方で収入の（もともとないため）減少がなく、助成の対象にならない。
食費と光熱費がかさむ。
今の生活がいつまで続くのか。
色々なことがコロナの影響で不安がいっぱい。
子どもたちのこれからの生活
この状況がいつまで続くのか予想がつかないのが不安
この状況がいつまで続くのか。
これから先が分からない。
コロナの影響がいつ終わるとも想定できない。人々の生活を守るためにワクチンなどの開発を世界規模でやってほしい。
コロナの影響が拡大すると先には不安を感じる。
今後どうなっていくのか不安
先が見えないので不安です。
先行きが見えない。
先行きの不透明さ
先行きは不安
将来のビジョンが立てにくくなった。
生活に変化はないが不安はある。
長引くと影響がでてきそう。
色々な物価が変動、酒税や煙草の値上げじんわりと影響がある。
気候による野菜不足等、それに伴う便乗値上げ。
今後物価が上がりそうなこと。
品物の買い占め、値段の高騰
消費税10%よりも気候変動の影響か野菜が高い。
物価が上がっているように思います。
物価が上がり大変で不安

物価が上昇している。生活費のやりくりが大変である。
物価が高くなってきている。このままいくと生活が苦しくなってきます。
物価の値上がりに対して収入が上がらない。
輸入食品が値上がっている。
いつまで続く自粛
移動の自粛は精神的なストレスになる。
移動の制限や自粛、病院での面会制限
いろんな事が中止になっている。県外にも行けない。
外出が不安
コロナの影響が長引く場合、今後の生活が気になる。心を育てていく必要があると感じた。
大学生の子どもがいるが、授業はリモートで大学へは行ってないのに授業料を通常通り支払わなければならない。金額が大きいので痛い。
大学生の子どもがいます。一日も学校に通えてないのに後期の学費が今まで通りなのは納得いかないし支払いが不安です。
子どもの教育費
オンラインなのに学費満額取るのはどうかと思う。
4月から下宿先の部屋を契約したのにも関わらず、学校の前期は遠隔授業となり、ほぼ住むことなく4月から9月までの半年間分の家賃を無駄にした。
いつ何が店頭からなくなるのかと思うことがある。
家族が多いので心配
簡単で分かりやすい支援施策を手早く
気持ちの面で神経質になっている。
このままでは下降していく。何か策がでてこないか期待している。
コロナで休みは多いが仕事が残っているので大変だ。
消費に対するマインドが下がっているのも、いろんな分野で買い控えが、この先広がるのではないかということが不安
水道代が安かったのが助かった。
水道などの値下げをしてほしい。
生活を見直し、細々とやっていくしかない。
贅沢をしなければ今まで通りです。
早急に元の生活に戻してほしい。
年金生活なので経済的な影響はほとんどありません。
年金生活につき経済的な不安は当面ない。
犯罪が起きないことを願います。
余裕がなくなった。
家賃
第一波の際はバイト先が休業等で影響がありましたが、現在はほぼ通常に戻っています。

資料2、新型コロナウイルス感染拡大により普段とは異なる暮らしの中で不安に感じること

*同じ意見はまとめています。

G o T oキャンペーンが始まり旅行会社から国内旅行のカタログが送られてきますが旅行どころか名古屋への買い物も不安で行くことができません。
いつから旅行に行けるのか、早く行きたいと思う。
移動自粛がいつまで続くか不安
移動自粛制限
移動自粛制限が続くと遠方に住む家族に合うことが難しく高齢なこともあり心配
移動自粛制限のため老親が病気でも帰省してもらえない。
移動の自粛が長期にわたると親族への支援や冠婚葬祭等への義理が果たせず罪悪感が募る。
移動の自粛制限、誤った情報の伝達
移動の自粛制限、氾濫する情報への不安
移動の自粛制限で兄弟との最後の別れができなかった。
移動の自粛とG o T oトラベルのバランス
外出制限への不安
外出の自粛に気をつけているが、キャンプ inn 海山の人の多さにびっくり！トイレや炊事場、受付とか「密」です。何をどう気をつければよいのか分からなくなってしまう。
感染が怖くて県外への移動の自粛と外食を避けている。家庭内で危機意識が異なりケンカになる。
関東方面に親がいる。なかなか様子を見に行くことができない。
気軽に旅行に行けない。
県外で暮らす家族に会えない。
県外で暮らす子どもの元へ行くこと、子どもが帰省することへの不安
県外に暮らす子どもたちが帰ってこれない。
県外に住む親への訪問機会が失われてしまった。
県外に住む子どもが帰ってこれないこと
県外に住む子どもたちが帰省を控えている。いつ会うことができるのか不安です。
県外に住む子どもに帰省を自粛させていて、なかなか安易に会えないこと
県外に住む子どもや孫に会えないのが寂しい。
県外に住む親族に会えない。
県外に住む親族に会えない。この状態がいつまで続くのか不安である。
県外に住む親族に会えない。コロナ感染者へのバッシングをなんとかしたい。
県外に住んでいる友人との交流に気を使い自粛している。今までのように交流しにくい。
県外の移動
県外の家族と会うことに不安を感じ、なかなか会う機会をつくれないうこと
県外の家族と会うとデイサービスに伝えることによりデイサービスに行けなくなる。
県外の実家に帰ることに不安がある。
県外の実家に帰れない。
県外へ行けず子どもに会えない。
県外への移動ができず困りました。
県外への移動が不安

県外への移動自粛
県外への移動自粛があり自由に行動できず親族の冠婚葬祭にも出席できない。
県外への移動自粛が辛い。感染者が悪者扱いにされる。
県外への移動自粛制限で出かけにくい。
県外への移動自粛と、受験への影響
県外への移動制限で親族に会うことができず不自由な日々でした。
県外への移動制限で身内の様子を見に行けない。
県外への移動による感染の不安
県外への外出に不安
県外への旅行や帰省など外出することが怖く、気分転換できない。
県外へは行かない。
県境を越えて移動できないので孫の顔を見に行くことを控えている。寂しい気持ちがある。
県境を越えて仕事に従事している家族や知人に接すること
県境を越えての移動
県境を越えての移動ができず、子どもの家に行けない。
県境を越えての移動自粛制限
県境を越えての移動自粛制限は感染拡大を抑えるにはよいと思いますが離れて暮らす家族と会えないのは孤独感でいっぱいになり辛いです。
県境を越えての移動制限があり家族に会えない。正しい情報が伝わらないため過剰に反応し合う。
県境を越えての移動に不安を感じる。
県境を越えての移動の自粛
県境を越えての移動の自粛で子どもたちに会えない。
県境を越えての移動はかなり不便
県境を越えての移動は届けが必要なので大変です。
県境を越えての自粛制限
県境を越えての不安、当たり前利用できていたことができなくなった。
県内に離れて住んでいる家族との接触で知らないうちにコロナに感染しないか(県外通勤している家族も) 不安。
高齢の家族に気軽に会えなくなること、家族の仕事で県境を越えなければならないことも不安である。
子どもが神奈川に居住しているが移動ができない。
コロナウイルスに感染したらと思うとどこにも行けない。県外に気軽に遊びに行けない。
コロナ後の世界がどうなっていくのか予測不明。東京・大阪・名古屋に出かけにくい状況。
実家が県外のため移動が制限されると行き来できず会いづらい。友人とも会いづらく疎遠になるのではと不安
実家の母が高齢のため県境を越えての移動自粛をしなければいけない。
実家への帰省に影響がでる。
常時、行き来していた県外の親族に会えず高齢者が多いのでお互いに心配
ステイホームを厳しく意識するとストレスを感じてしまう。一方で主人の会社では県外の出張があるので心配になる。

他県に住む娘や孫に会いに行けない。いつまで続くのか不安。安心して医療機関に行けるか、対応していただけるか不安である。
他県に旅行が行けないことが少し残念です。いつまでマスクをつけて外出しなければいけないのか・・・
他県の移動は罪悪感を感じるようになった。
他県への移動がしたいです。
他県への移動自粛
他県への移動は控えている。
他府県への移動
テレワーク実施や県またぎ
東京にいる息子が帰省できないので心配です。
遠出がなかなかしにくいこと
都市部への移動が不安
なかなか旅行に行けない。今までのように孫に会えない。
なかなか帰省ができず困っている。
まだまだ県を超えての親元に行くのが難しいため早い終息を願っています。
娘が今年、大学受験。東京へ行く予定なので県外移動。来年は東京で下宿することになるので一人暮らしをさせることに不安を感じます。
友人と会えない。旅行に行けない。
旅行に行けない。ストレスがたまる。
旅行に気軽に行けないことが困る。ストレス発散ができず不安が募る。
旅行にも行けず常にマスクをする生活になじめない。
旅行やお出かけができない。
私に急な危険が迫っても娘たちに連絡できるかどうか不安
県をまたぐ移動
県を越えるのは、三重県なら愛知県くらいなら就活等で越えてもいいのか、こちらの判断に委ねられていたのがすごく困ったし、企業側にも不安を与えていたと感じた。
県境を超えての移動制限
実家に帰れない。
旅行になかなか行けない。
旅行に行きづらくなりました。全体的に気が緩み始めているような感じもします。
PCR検査をもっと心配な人が誰でも受けられるよう早く整備してほしい。
いつ感染するか分からない不安
いつ感染するか分からない不安、風評被害や誹謗中傷が恐ろしい。
いつ感染するか分からない不安、風評被害や誹謗中傷が恐ろしい。行動が特定される社会になっていることへの不安
いつどこで感染するかわからないという不安
移動制限（感染の不安）
移動の自粛
移動の自粛で外出が不安
移動の自粛で家族が集まれない。
移動の自粛で精神的に落ち込む。

医療機関への受診が不安、電話診療等をしやすくしてほしい。
ウイルス感染
ウイルスのことについてまだまだ分からないことが多すぎる中、イベントや人ごみに出かける不安
生まれたばかりの子どもがいるので不安です。
夫が医療従事者のため自粛制限が一般の人よりも厳しい。クラスターが心配で介護従事者等コロナ禍で働く人、家族はたいへんなのにG o T oキャンペーンなどの恩恵すら受けることができない現状。
親が亡くなり初盆と一周忌に帰省ができず残念だった。
外出外食に不安。遠方の家族が帰宅できない。
外出が減りました。夏にマスクを着けていくのはとても大変です。
外出時に感染する不安
外出時の感染
外出する機会が減り足が弱くなった。マスクが手に入らない時は本当に困った。
外出することで感染が気になる。どこにも行けない。
外出することへの不安、安心して外出することができなくなった。
外出時には神経を使う。
外出の自粛
外食や公共交通機関での移動が心配
買い物などで外出するとき感染予防に心がけているものの、いつどこで感染するか不安を感じます。幸い我が家は若者がいるので情報がすぐに入手できますが、年配の方は心配で不安だろうと思う。
買い物や外食を控えています。
家族以外の人とのコミュニケーション
家族間感染
家族や知人に感染を広げてしまわないか不安
家族を守ることがたいへん
家庭への感染
感染が怖くて旅行に行けない。
感染が心配
感染が不安
感染した場合、高齢の家族の世話をどうするのか不安です。
感染してしまった後の職場、周りの方への影響、風評被害
感染すること。
感染する不安と感染した場合の自分のおかれる立場、ステイホームにおけるメンタル不安
感染の不安
感染の不安、思い通りに行動できない。先が見えない。
感染予防には気をつけているが、いつ感染するかもしれないという不安
給付金がほしい。外出するのも怖い。
近隣でも公共交通機関での移動に神経を使う。
県外への移動が解除になったが移動して感染した時の不安、周りへの影響など
公共交通機関の利用に不安

公共交通機関を利用するのが怖い。県外の娘に会う機会が減っている。
公共交通を利用して移動すること、学生のアルバイト減少
高齢者と同居しているので感染することの不安、ご近所の目も厳しい。
高齢で持病があるため感染が不安である。
高齢の母がいる中、生活物資も含めた買い物の外出においても感染するかもという不安が常にある。実家の親についても顔を見に行くことを控えており、こちらも心配に感じている。
子どもたちの仕事が県外のため感染が心配
子どもの遊ぶ場所がない。出張も怖い。
子どもを連れての外出
子どもを連れての外出に気をつかう。
子や孫が近くに住んでいて私ども老夫婦と接触が多いので、もしコロナに誰か若い人が感染したらと心配です。
コロナ感染の不安のため県内の移動自粛している現状、離れた家族と自由に行き来できるのはいつのことだろう。
コロナだから出かけない。
コロナに感染した時に、地域や会社の人たちへの影響が心配です。
コロナに感染したらと思うと精神的にも、伊勢市の検査体制も不十分で心配です。
コロナの感染が不安で、外出できなくなった。
コロナの中、不安を抱えて生活している。病院に行っているが怖い。
仕事があるのはありがたいが人と接する業種でもある。いつになったら遊びに出てよいのか。ストレスになる。
自粛制限、感染対策
持病があるので感染が不安である。
自分が感染しないか不安
自分自身が感染してしまうとお店に迷惑をかけてしまうので心配
主人と外食をします。友だちを誘ってもし・・・と思うとこわい。
職場へコロナウイルスを持ち込まないよう休日の過ごし方に気を使いストレスが溜まります。
知らないうちに感染している場合、感染させていると思うと不安です。
スーパーやデパート等でアルコール消毒をしない人も多く見受けられる。声掛けをしてほしい。
誰が感染しているのか分からないので怖い。
直接的な感染に対する制限
通勤時のウイルス感染への不安
常に感染の事を考えなければならないので、まだまだ不安な気持ちです。
常に感染の不安はあります。行きすぎた民間警察による相手を傷つける言葉や行為に煩わしさを感じます。
出かけた際に感染し、それを知らずに人に感染させないかとても不安
出かけることが少しおっくうになって、情報を正確に受け取ることが出来ないのではと思うことがあります。
どうしても急用で出かける時、感染が気になります。

遠出や外食は普段からしないが自粛制限があるというプレッシャーは感じる。
友達を食事に誘うことへの不安
年金生活者なので収入は変わらないが、家族に要介護者がいるため感染のリスクを考えると外出できず気分は下がる一方である。
配達の仕事で人と合う機会も多く、いつどこで自分も感染するか分からないという不安、ストレスを常に抱えている。
病院外来での感染が不安
病院受診をすることへの不安。
病院での受診をためらう。
病院に行くのが不安、風邪もひけない。移動自粛のため親にも会えない。
不安しかありません。
不安でしかない。
不安は尽きないけれど命と引き換えになるものはないと思って生活している。
マスク着用して外出しても、いつ感染するかわからないという不安
窓口対応なので県外の方が来店すると緊張します。
腰痛のため整骨院へ通い始めたが手のアルコール消毒のみで感染対策をしているとは思えません。
旅行等に行きたい気持ちはあるが感染したときのリスクを考えると出かけづらい。妻が妊娠中で出産を実家でするので移動中の感染が怖く感じます。
移動自粛
移動自粛制限
移動自粛中に人が多い所に行くこと
移動制限
外出後、研究室に行く時にコロナに感染していたらどうしようという不安
感染が心配で外出を控えている。
感染した時の生活や世間的なこと
気軽に遊びに行くことが無くなった。
交通機関を利用した移動にまだ不安を覚える。
就職関係で県外に出ることがあるが、移動中や移動後の感染が心配。
「3密」を避ける生活を余儀なくされITの知識が乏しい者にとって操作などができないことによる不自由、不公平感はとても大きい。高齢者世帯でネットを使えない環境下の人へのサポートがないことへの不安
「3密」を避けるためオンラインでのやり取りが増え、今後増々オンラインが充実してくると思われるが苦手で不安
GoToキャンペーンは早すぎたと思います。感染が収まってからでもよかったと思います。
いつ終息するか分からないため、また大学が閉鎖されてしまうのか心配
移動販売車が来るといいと思います。
医療の充実が望めるのか不安です。
オンライン上でしか人に会えなくなっている状況が続く、貧困の人々が増えて経済全体が落ち込むこと

かかりつけ医の町医者がコロナで休診、いつから再開できるか分からず病気になったら他の医者へ行く。
学校教育のすすみ具合が心配
学校の授業が遅れている。
感染が完全に収まっていない中でG o T oトラベルなど規制をどんどん緩くしていく政府に疑問を感じます。
給付金などの支援があれば助かります。
経済の停滞が心配
高齢の父親への支援も必要になった。
子ども達には影響があったようです。医療関係で患者数は少なくなり12月のボーナスはでないのではないかと心配しています。
子どもの活動、運動不足による身体発達面、精神発達面でのちに何かあるのではないかと不安になる。
この先、仕事が続けられるか、契約が打ち切りになるのか不安
この先の生活やお金のこと、子どもたちの進学や仕事のことを不安
コロナウイルスに感染した場合のペットの世話と親の介護
今後の暮らし
今後の公財政
再度の特別定額給付金を望みます。
先の見えない不安
自粛中、通販が頼りですが、どこも品不足で困ります。
食品の値段と供給量（サンマ等）が安定していない。
人的交流が厳しくなったので金銭面でも困っている。
スーパー等が閉店にならないように願います。
ステイホームなどでの認知症の増大
全てが不安
全てにおいて安心して生活ができない。
生活に関しての援助も、公共機関を頼まなくてはならず金銭的に難しいことあり
生活に必要なものが入手しづらくなっている。
体調不良になったときの対応はどうしたらいいのか。もし感染した場合1人暮らしの親の世話をどうするかなど不安です。
注文したものが思うように入らなかった。例えば鯖缶などの価格が上がった。買いだめのせい？
内定が取り消しにならないか不安
値上げをやめてほしい。
年齢的に保障がないので働く日数が少なくなり不安
早く元の生活ができるように願っています。
必要なものが品切れしている。
避難所での感染対策
不自由はあるが不安はない。
冬に第3派が到来し、また在宅勤務などがあった場合、万が一感染した場合の休業補償などについて不安

マスク、消毒液、トイレットペーパーなどの品不足が心配です。
密接を避ける必要があるので従来の生活が変わるが、それに合わせた社会変化が遅い。
ゆっくり買い物をしたり宿泊しての旅行など、自由にできる時がくるのだろうか。
ワクチン開発、治療法の確立が見えない
私たちは年金暮らしなので、さほど金銭的な影響は少ないが子どもたちは商売なので苦しいらしい。
学生向けの給付金を受けることができなかつたため、給付型の金銭的支援をしてほしい。
金銭的不安
就職できるか心配です。
就職活動
情報が全てメールなどの非対面式での伝達になること。
生活が苦しい
大学関係の不安が多い。
部活などの大学の組織の運営の破綻の恐れ
安易に行動できないのが大変つらい。
家に閉じこもることが多くなりストレスを感じます。
家の外（外出）が制限され家族にストレスが溜まっている。
行きたい所に行けないもどかしさでストレス、いつまで続くか不安
移動自粛制限が辛いです。
移動することが減った。心身の引きこもりが心配です。県外で暮らす娘にいつ会えるのかと思います。
移動の自粛生活で、だんだん外出を控え、閉じこもりがちになっていく。
今の不便でストレスのたまる生活を、いつまで続けなくてはいけないのか不安
今までと違う生活様式でたくさんの方がストレスを感じている。そのストレスによっておこる不安や争いや人間関係
運動不足
外出ができないなどの日常変化が長く続くと心が疲れてしまいイライラし怒りっぽくなったりしてしまう。
外出が減ったのでストレスが溜まりやすい。
外出自粛が続いているので楽しみも少なくなりつまらない。
外出の自粛でストレスが溜まります。
外食や買い物、友達との会話を控えているのでストレスが溜まります。
学校行事の中止が続き、子どもたちへの影響が心配
行動範囲が狭くてストレスがかかる。
行動範囲が狭くなり不便
子どもが学校でもマスクをつけているのでストレスが心配
子どもたちの活動が制限されること
子どもたちの生活への影響
子どもへの影響とストレス
自粛生活が長く精神的負担が大きい。
自粛による苦しさを感じます。
自由に移動できないこと

ステイホームで少し気持ちが晴れない。
ステイホームの長期化によるストレス
ストレスが溜まってきた。
大学がオンラインでの授業になり大学生活が台無しだと子どもが落ち込んでいる。
体力筋力精神力の衰えが著しい。この身体が動くうちに自由に働ける環境になってほしい。
入院中、入居中の方々の精神面が不安
不安はないがストレスはある。
移動、外出自粛制限が、つらい
県外に遊びに行ったり、本屋に寄ったりする事すらも厳しかった時期(4月～6月頃)は、コミュニケーションを取れる人や生活範囲が制限されて大変ストレスが溜まった。
生活の変化により、コロナ鬱になりそうです。
友達ができるか。就職活動に向けて個別に面談がないので不安。家にいることが多くなった学生が増え、夜中に外や家の中で騒いでいる学生がうるさい。
TVなどの情報がありすぎて人との交流もままならず困っています。
移動自粛が叫ばれる一方でG o T oキャンペーン等で旅行が推奨されるなど混乱している。
感染が収まらず、どんなことで感染したのか詳しく知りたい。感染した人を守ることも大事ですが、感染者を増やさないようにどうするか
感染した時の対処法を具体的に知りたい。
感染しない感染させないための適切な情報がほしい。
感染者の情報が市町までしか分からず、もう少し詳しいとよい。中途半端な制限ではなく徹底してほしい。
給付金などの手続きがよく分からないとのことで、ご近状の方の手続きをお手伝いしました。移動が規制されると高齢者の方は不安が多いと思います。
個人情報や踏まえた情報はこんなものかと思う。
コロナに過度な反応をされている方が多い。正しい知識の周知が必要だと思う。
コロナの感染者がでた地域を詳しく発表してほしい。
自粛制限がどこまで徹底しないといけないのか曖昧で分かりにくくて困る。
情報が溢れ、何が正しい情報なのか分かりにくい。
情報がありすぎたり、人によって捉え方の差があるので心理的に負担を感じる。
情報が多く、高齢者はついていけない。
情報が分からないので不安
情報だと思います。近くにコロナの人がいた時など。
情報の隠匿が不安
情報の受け手側がシビアになっている。メディアの発信の仕方で受け取り方が変わりやすくなってきている。情報の選択が不安である。小学校の授業時間の確保
情報の伝達
情報の伝達が少ない。
情報の伝達が不十分、必要な情報をもっとほしい。精神的にしんどい
情報の伝達をしっかりとやってもらいたい。
スマホやインターネットがないのできちんと情報が捉えられているのか不安である。

正確で得ない情報が流れてきてしまわないか不安を感じる。
正確な状況の開示
正確な情報伝達がもっと必要だと思います。
正しい情報の伝達が必要です。
正しい情報を伝えてほしい。
正しい情報を速く受け取りたい。噂やチェーンメールが行き交うのが怖いと感じた。
テレビ等の情報が余計に不安をあおっているように思われる。確実にこちらが納得できる情報の提供を望む。
テレビなどの放映で、詳細についてはホームページでということは高齢者には困る。
どこまで自粛すればよいか。
どのレベルまで対策すればよいか。
ニュースでコロナウイルスの感染状況を確認しているが、もっと詳しく知りたい。情報が少なすぎる。
熱がでた時の対処、連絡先
年代によって症状が違うこともあり、どんな症状がよくないのか、どんな対応をすればいいのかわからないところがある。子どもに外出させてあげることができずストレスを与えているようで不安
年齢的に新しい情報が分かりにくい。パソコンやスマホを使えないのでテレビでの情報になる。
発熱した時の対応
必要な情報が得にくい。
日々の詳しい情報がほしい。
不安をあおるようなニュースが多い気がする。買い物をするとき娘（1歳）が感染しないか不安になる。
不安を感じることはどの情報が正しいのかとか、少しずつでも前に進んでいきたいけどこのままの生活を続けるのか。
メディアでの専門家ごとの異なった見解
メディアの偏った報道が多かった。正しい情報がほしい。
私たちに必要な伝達が、年寄でなかなか大切なことが伝わってこない。
外出自粛は公式に言われなくなりましたが、どれほどの外出をしていいのかわからない。
大学の情報が入ってこないこと
4月に入ってから大学に登校した事がなく、人間関係や精神面に不安を感じます。
移動自粛制限により楽しい集いがなくなった。
移動の自粛で人との接触が激減した。自分自身の引きこもりへの不安
色々な制限の中で人とのコミュニケーションが思うようにとれない。
思うように人とコミュニケーションがとれず将来的に不安
外出の自粛、人と人との関わりが疎外されている。
近親者や近所との対応
県外への移動自粛、人の集まりが気軽にできなくなった。
行動自粛により人との交流がなくなり味気ない生活をおくっている。
子どもたちを自由に遊びに連れて行ったりできないことで見えないストレスを感じているのではないかと。自分も含めて人とのかわりに制限があることがつらい。

コミュニケーション不足、子どもたちのメンタル面
自治体行事が今年は全て中止となり、近所づきあいも含め更につながりがなくなってしまった。
社会交流
集会や会合など開催しにくく、根本的な会話が難しくなった。
ステイホームによる体力知力の衰え。会合などが中止になり同じ在所の友人たちの会まで中止せざるを得ない雰囲気の中、高齢者が家にこもる状況が生まれている。
ステイホームや県境を越えての移動自粛制限、「3密」を回避することで持病のある高齢者との接触を避けるように努力するとコミュニケーションがとりにくくなった。
地域のコミュニティが崩れ、引きこもりになる弊害が心配
直接、人と話す機会の減少により、さまざまな事が共有認識できているか不安
同年代の人たちと気軽にしゃべりやランチができなくなった。
日常生活での人との関わりや社会との繋がりや人間関係が希薄になったと感じる。
人と会えないことでつながりが薄れていくこと
人と自由にかかわりが持てないことが不安です。
人とのかかわりの減少
人と人との交流の減少
人と人との触れ合いが少なくなって、いろんな行事などがみんな中止になっています。これから先どうなるのだろうか心配です。
人の交流も減り精神的ストレスを感じますが少々の我慢は仕方がないこと、早く終わるように願うばかりです。
人々との交流がなかなかできない。
密を避ける状況が長引くことで家族や友人と直接会えない不満、感染者へのバッシング等、人心が荒廃していくこと
一人暮らしで、人に会えないこと
家族以外の人との関わりが少なくなり、口数が減った。性格が内向きになった。ストレスで時々突然泣いてしまう時がある。
交友関係
今後の人間関係
人との関わりの少なさ
人との交流が少ない。
他県から引っ越して来たが、友達が1人もいない。
他県から引っ越して来たが友達がいない。
他者との関わりがほとんどなく、これから社会に出て行く上で必要なことが経験できない。
対面授業が行われず、人とのつながりがほとんどなくなっていること
大学に一度も通えず、友人ができないこと
大学に行けないこと
大学生活
友達と関われない、会えない。
友達と気軽に会えないこと
一日も早く孫に会いたい。

移動の自粛で県外の子どものやり取りができない。
外出の自粛で親族の援助が必要でも出かけられない。
家族に会えないこと
県外で暮らす家族の感染が心配です。
県外で暮らす子どものことが心配です。
県外にいる親の健康問題があり移動自粛などの制約を受けている。
県外に住む家族に会えない。
県外に住む子どもたちの様子が伝わりづらくなった。
県外に住む孫が帰省できません。
高齢者施設への面会などがなかなか許可されない。
高齢の母に会える機会が減って心配が募る。
高齢の両親のことが心配
子育て中の子どもたちの仕事はどうなるのか不安です。
子どもや孫に会えない。元の生活に戻りたい。
大学生になった子どもが、入学式や学校行事がすべてなくなりひとり暮らしの中不安な状態で過ごしている。
長男が東京で一人暮らしをしているのでコロナウイルスに感染したらと思うと心配です。
都会にいる子どもは葬式にも初盆にも帰っていません。安心・安全な生活を望みます。
年金生活のためコロナによる影響はない。外出は減り、生活にメリハリがなくなった。入院している高齢の親に会えないのがつらいです。
離れて暮らす家族に会えないのがつらい。
いつまで自粛生活が続くのか、いつまで我慢できるのかと思う。
いつまでこの暮らしが続くのか不安。他県にいる子どもや施設に入居中の母に面会ができない。
いつまでこの状況が続くのか。
いつまで続くか分からない不安
いつまでマスクをつけた生活が続くのか不安です。
いつまで続くのかという不安
移動の自粛がいつまで続くのか。
外出がままならないのがつらい。
買い物や外出、子どもの遊び、幼稚園行事の中止などの状況がいつまで続くのか不安を感じる。
感染を恐れ行動に限度がある中、それが長引くことに不安を感じる。
この状態が来年も続くと生活が厳しい。
コロナがいつまで続くのかが心配です。
コロナ禍がいつまで続くのか不安
先の見えない自粛生活
先行きの不透明さ
自粛生活がいつまで続くのか。子どもが自由に遊べる場所があるのか。
ステイホーム、どこまで自粛をすればいいのか、しなければ責められるのか。
ステイホームがいつまで続くのか不安
移動自粛をいつまでしなければならないのか。

金銭面と終わりが見えない中で、前のように好きなことができなかつたり好きな人に会えなかつたり、好きなところに行けないこの状況がいつまで続くのかという不安
体調管理
大学側から自粛を強いられており、いつまでこのような状況となるのが不安である。
移動自粛制限等がこれから続き、外出するのもそっと出ていかないといけないこと
会合やイベントの縮小中止、行ったときの周囲の反応、もしかしたら何を言われるかわからない恐怖。
外出を控えているが感染すると周りの人たちの反応が怖い。
家庭が感染した場合の近所の反応
感染した際の周囲からの風評被害
感染した時に偏見をもたれそう。後遺症も心配
感染者への誹謗中傷
コロナウイルスにかかることで周りの人の目が気になる。誰でもかかるリスクは持っているのだが、かかることで行動を批判する人が田舎故にたくさんいて怖い。県外にいる親族に会いに行きたいが行ったことが周りに知れると批判されそうで怖い。
コロナウイルスに感染した人への差別が気になります。自分や家族が感染したらどうなるのだろうと不安になります。
コロナ感染者に対する誹謗中傷
コロナ感染に対する偏見
コロナ差別に不安を感じる。
コロナに感染した際の周囲の目が不安です。
万が一、感染した場合の周囲からの差別
身近でコロナに感染した家がひどい状況となった。そうはならないかという不安
感染した時の生活や世間的なことに関して
感染した場合の近隣の住民からの目、感染したことにより叩かれること、どの程度の距離なら出かけていいのかわからない。
感染者やクラスターに対する過剰なバッシング
在学中の大学でクラスターの発生があった。風評被害が心配です。
3密の回避が必要であるがとても難しい。
G o T o キャンペーンによる観光地への影響(良くも悪くも)
P C R 検査の早期実施で感染を防ぐ
移動自粛制限がなくなることで再び感染拡大してしまい、なかなか元の生活に戻れなくなるのではと不安に感じます。
移動の制限で子どもたちに会えないのは寂しいが、感染意識が緩む方が心配である。
家族に会えないのが寂しい。先が見えないだけに個々の自覚が大事だと思います。
感染予防対策の限度が心配
感染予防に対する気のゆるみ
クラスター発生の不安
県外からの観光客が増えると感染の拡大が心配
県外の車が多くなった。
県境を越えての移動制限が緩やかになってきているので第2派、第3派がくることに不安がある。

高齢者夫婦で持病があるので感染リスクがあります。介護施設を利用しているのでそちらでクラスターがあると利用できないので心配です。
この冬、インフルエンザとコロナのダブル流行になった場合に対処できるかは非常に不安
施設や病院での面会の制限による不安
政府や自治体任せでは不安なことがいっぱいです。一人ひとりが注意深く行動することが大事だと思う。
葬儀場ではこれまでと何ら変わらない葬式がおこなわれていた。
たまにマスクをつけずにいる人を見ると不安に思う。
旅行や地域活動が減り外出の機会が少なくなった。
部活、サークル等の感染防止対策の徹底不足
W i F i などの環境整備にお金がかかった。
いつまでマスクをする生活が続くのか、大変です。
移動の自粛で不便
移動の制限や不安をなくすことが大切
今までのように、すぐ病院にかかれない。
風邪症状があると整形なので見てもらえない。
給付金は毎月一律に国民に与えるべき。特にサービス業の労働者には少し多く与えた方がよいと思う。
県外に住む子どもたちに会えないがL I N E や動画も送信されるようになったので少しは情報も分かるようになった。
国民が一方的な正義感をもって行動している。
コロナでなくても病気になった時に、保健所等へ連絡する必要がある、医療機関への受診が困難である。
自粛生活が日常になり不自由もストレスもない。減収したので10万円の給付は助かった。
自治会活動に取り組むのが難しくなった。
耳鼻科が機能していなかった。点鼻薬の処置がなかった。
自分たちでしっかりと予防している。自分たちの身は自分たちで守る。
スーパーでの苦痛が大きい。文句を言う人が多い。年配の人に対して給付金を出した方がよい。
全てが不安
楽しめることが少なくなった。
地域のサロンが復活し、ふさがちな気持ちや不安がなくなった。
学習環境の確保が難しい。
大学、公共の図書館等の利用制限があるのは不便
大学で対面授業を受けられないこと
大学の図書館で自習できるようにしてほしい。
突然、授業形態が変わることがあるので、1ヶ月の定期券を買っていたら無駄になることがある。

資料3、新型コロナウイルスへの対策や社会保障、消費税等、政府や行政に望むこと

*同じ意見はまとめています。

10%でも厳しいので消費税増税は控えて欲しい。
期間を決めて消費税を5%にしないと人々も経済もうまく回らないと思う。
経済が安定するまで消費税を下げるといいと思います。
経済の活性化を目指すのであれば期限付きであっても消費税を下げるかなくすことが一番早いと思う。
現金を配るより毎日の生活を安定させてほしい。減税等
減税、雇用
減税は当然、その分は法人税など企業に負担を
こんな時こそ消費税を減らす。
収入が安定しない中のため、消費税の減税や給付などがあると助かる。
収入減少によるいろんな税の減額・免除を希望
収入の減少化にある中、消費税が増税となれば家計が苦しくなる。中止か減税してほしい。
使用されないマスクやGoToキャンペーンをしていますが適切なところに国税を使ってほしい。Withコロナを打ち出していますが、この表現はよくないと思います。消費税を5%に戻してほしい。10%だと消費への負担がかなりきついです。
消費税0、政府や行政がもっと努力するべき。
消費税が10%は家計に対して厳しい数字なので減税してほしい。また学費が高額、私立大学に子どもが通っているが学校はオンラインで立ち入り禁止で施設を利用もしていないのに学費を全額納入するのは納得がいかない。
消費税が高すぎる。
消費税減税、廃止
消費税減税、社会保障の充実
消費税減税を
消費税減税を、国保料、介護保険料の負担が多すぎ
消費税減税を期待したい。
消費税に減税、医療施設への補助
消費税の軽減は皆に平等でいいと思います。コロナで世帯収入が減り増税分がきつく感じます。
消費税の減税
消費税の減税、インフルエンザワクチンとコロナワクチンの無償化
消費税の減税か一時停止
消費税の減税と社会保障の充実、大学の学費減額を望みます。
消費税の減税とワクチンの開発
消費税の減税は購買力を生むのではないか。
消費税の減税は必要かと思う。
消費税の減税や、社会保障をこれ以上悪くならないようにしてほしい。
消費税の減税を望みます。
消費税は0%にしてください。
消費税は0にしてほしい。
消費税は0にしてほしい。PCR検査をもっと安価にしてほしいです。行政がもっと生活の援助をしてほしい。

消費税は5%に戻してほしい。
消費税廃止、社会保障を手厚く
消費税は下げてほしい。
消費税は下げるか、廃止にしてほしい。
消費税は収入がなくなったり、減った人には、とてもたいへんと思うので下げてほしいと思う。
消費税は少ない方がよい。
消費税は少なくとも5%に下げるべき、特定の大企業が潤うなどもってのほか、弱者に手厚い補償を
消費税はせめて5%に下げてほしい。
消費税は当面5%にするべきだ。
消費税はなくしてほしいです。
消費税引き下げ
消費税や年金の減額
消費税を0に！！
消費税を0へ、PCR検査などの感染検査を充実させてほしい。
消費税を8%に戻してほしい。
消費税を期間限定で下げる。ワクチンの開発
消費税を軽減してほしいと思います。
消費税を下がるべきだと思います。
消費税を下げてください。
消費税を下げてほしい。
消費税を下げてほしい。PCR検査を希望者に安く受けさせてほしい。
消費税を下げてほしい。営業者への支援を強めてほしい。
消費税を下げてほしい。可能なら0%に
消費税を下げて貰いたいです。
消費税を下げることで少しは生活が楽になるのではと思う。
消費税をなくしてほしい。
消費税をなくしてほしい。一部の人にもうけさず政策は止めてほしい。
消費税をなくしてほしいです。防衛費の予算をぜひ社会保障に回してください。
消費税を減らすことが第一
消費税を安くしてもよいのではと思う。
徐々に物価が値上げしていつている。消費税の見直しの必要あり、収入の割に支出が多い。
消費税の減税を希望します。
税金などの減額
税金面の支援策をぜひおこなってほしい。
税金を減税するか給付金を再度してほしい。
せめて消費税は5%に戻してほしい。社会保障の充実を望みます。
年に一度でも給付金があると助かります。消費税の減税を望みます。
減税
消費減税
消費税10%はきつい。
消費税5%くらいへの減税

消費税の減税、全国民への給付金の再配布
消費税は、コロナ期間だけでも全て8%にしてほしい。就活生の行き場を残すために企業をサポートして求人数を減らさないようにしてほしい。コロナへの危機感が薄れている人が多いため改めてコロナウイルスについて周知してほしい。
消費税は、上げないでほしい（8%のまま）
消費税を減税してくれると助かる。
消費税を減税して欲しい。
消費税下げて欲しい。
消費税軽減、国会議員の給料や経費の減額、ベーシックインカム案の廃止
消費税減税、生活に困っている人の保障
税を軽減してほしい。
税金は安くしてほしい。
PCR検査を多くの方が受けられるようにしてほしい。消費税の増税分は生活弱者につかってほしい。
安全で安心なワクチンの開発を望みます。
安全なワクチンを確保してほしい。
一日も早いワクチンの開発を望む。
一日も早く国民全体にコロナワクチンが届くことを願っています。
一刻も早くワクチン治療薬の開発を望みます。
薬の開発
コロナ治療薬の開発、治療器具の充実
コロナの新薬を早く見つけて、みんなを安心させてください。
新型コロナウイルスに効果のある薬の開発状況とか、政府や行政の取り組み方などを刻々と知らせてほしい。
早期治療薬の開発
早期のワクチン接種
早急のワクチンの製造
早期ワクチン開発と接種
治療薬の開発と研究をすすめてほしい。
治療薬やワクチンが早くできることを願っています。
治療薬やワクチンが早くできることを願っていますが安全性を大事にしてください。
早く予防薬治療薬が出来ることを望みます。
早くワクチンができてほしい。
早くワクチンができればいいと思います。
早くワクチンを！
早くワクチンを開発してください。
早くワクチンをつくってください。
ワクチンが開発された時に、すみやかに全国民にいきわたるようにしてほしい。
ワクチンができれば公的に皆が接種できるようになってほしい。
ワクチンができれば妊婦や子どもたちを最優先にしてほしい。
ワクチンが早くできるといいです。費用は政府負担でお願いしたいです。
ワクチンが早くできるとよい。
ワクチンと医療費の補助

ワクチンと治療薬ができること
ワクチンの開発、国の政治家も給料やボーナスのカット等すれば国民と同じです。
ワクチンの開発、増税に反対
ワクチンの開発、三重大学への留学生、生活が苦しい家庭などへの食品・物資などの援助を国や行政が積極的にすすめてほしい。
ワクチンの開発と、医療従事者への支援
ワクチンの開発と医療従事者への手厚い支援
ワクチンの開発と接種の無料化
ワクチンの開発を急いでほしい。
ワクチンの開発を望みます。
ワクチンの開発を望みます。PCR検査は希望者が無料で受けることができるようにしてほしい。
ワクチンの開発を早くすすめてほしい。
ワクチンの優先順位はお年寄り、子ども、幼児を優先してほしい。学校に行く以上、子どもたちが感染したら家族にも影響がある。
ワクチンも必要ですが治療薬を開発してほしい。
ワクチンや治療薬ができるまでは感染しないよう自己で気をつけ情報などを得るようにしています。正確な情報を出してほしいと思います。
ワクチンや特効薬の開発が早く進みますように
ワクチンを早期に利用できるようにしてほしい。
ワクチンを早くつくってほしい。
早くワクチンを作ってほしい。
COCOAが機能していないし活用もされていない。
Gotoキャンペーンは経済を回す為に行っていると思いますがコロナ拡大防止の観点からはいかなものかと疑念が生じます。
Gotoトラベルは時期が早かったのではないのでしょうか。
ウイルス対策にもっと本腰を入れ効果的に公助をおこなう。
オリンピックを開催する際には最大限の感染防止対策を実施してほしいです。
感染拡大への対策
感染対策をしっかりおこなってほしい。
感染防止の強化
企業にも対策や自粛の指示を
クラスター対策、医療提携体制の整備
県外に行った人、県外から来た人の把握
コロナウイルス対策を第一に力を入れてほしい。
コロナウイルスの対策を急いでほしい。消費税をなくしてほしい。
コロナウイルスへの対応が後手ごてだったように思われます。医療に携わる方や生活弱者に対してもっと面と向かって安心できるように対応を望みます。
コロナウイルスへの対策をしながら小規模でもできる事で以前の生活を取り戻していく工夫をしてほしい。
コロナ生活に準じたインフラ整備（鉄道、介護施設）
コロナ対策の研究費を増やしてほしい。
災害対策やコロナ対策を優先的に取り組んでほしい。

自粛を強く要請してほしい。
自分たちでやっていくしかないのでサポートしてもらえるものであったり、確かな情報を提供してほしい。
新型コロナウイルス対策のガイドラインの明確化
新型コロナウイルスの対策、給付金が欲しい。
政府のどさくさで慣れてきつつあるコロナ情報にも油断が生まれるようなことにならないことを望みます。
政府や行政は国民の意見をよく聞いて保障などするにしても無駄なお金を使わず生きたお金を使ってほしい。
対策と保障を両輪にしてやっていくように
対策に一貫性がなく混乱を招いている。都道府県間で大きく方針が違うなど何を信用してよいかわからないことが不安を煽っている。
対策用品の安定供給
台湾やニュージーランドのような感染防止ができないのか歯痒い思いです。
地域に密着した方針がより安心と思われる。
なんとか対策をお願いしたいです。
早く終息するように努力してほしい。
冬に向けて早めはやめの対策を
マスク購入券などを無料配布してほしい。
マスクや消毒液がなくならないように
マスクや消毒などが不足しないように対策を考えてほしい。消費税をなくす。
マスクをしていない人が増えてきたり、だんだん気持ちが緩んできているので改めて注意喚起が必要だと思う。
マスクをつける必要性などを義務化してほしい。
まだ感染者が続々と出ているのに、慌てて経済再生策をやると、またパンデミック状態になるので落ち着いて慎重にやってほしい。
見切り発進ではなくきちんと体制を整えてから対策を実行してほしいと思う。
目先のことだけでなく長期的な社会や生活について国民に分かりやすく情報を出してもらいたい。
もう少し自粛期間や緊急事態宣言が長くてもよかった。補償は大変かもしれないが長引くよりはましだったはず。
もっと現状のあった対策をしてほしい。今の状況を分かっていないように思う。G o T o キャンペーンの時期など
ワクチンに大金を投じるよりも感染しても大丈夫な薬や治療体制にお金をかけてほしい。感染をなくすことは当分むずかしいのであれば感染しても死なない、世間で差別されないという風にならないといけない。
注意喚起を続けてほしいです。
いなべ市独自の補助がないので皆が平等に受けられるような事をしてもらいたい。
オンラインで物事を行う機会が増えたので、全国的にW i F i の環境を整えることにお金を使ってもらいたい。
感染した場合の通院代金も保障してほしい。
感染時の医療費などは国が負担すると聞いていますが、陽性から陰性に改善された後の医療費をある程度、国が負担してくれるのが望ましいと思う。

金銭的支援
金銭的支援、安定するまで支援が必要だと思います。
金銭的支援は一律で、困窮者にはプラスアルファで
経済も大切、でもコロナ禍でますます貧富の差が大きくなった。地域によってきめ細かい政策が必要。
現役世代の負担軽減
国民一律の給付金支給ではなく本当に困っている人に手厚い支援をお願いします。
子ども、高齢者への医療費の助成は助かるが、働いている年齢層にも医療費の助成があると助かる。
子どものインフルエンザ予防接種も市から補助してほしい。
子どもの教育に延期はありません。すぐに対策（すべての子どもにオンライン教育等）学べる権利の補償をお願いしたい。
コロナ感染者の社会への復帰後のサポート
コロナに関する費用はすべて国で賄ってほしい。
コロナにより生活が困難になった人への支援
コロナの影響で会社が休みになり収入がなくなった時にすぐに支援してほしい。
コロナの影響で職を失ったり、売上が極端に下がった方々に対して、長期の支援をお願いしたい。増税は必須ですが大企業や所得の多い人からたくさん税金を収めてほしい。
様々な政策が打ち出されているがパソコンやスマホを持たない弱者がいることを忘れないでほしい。
仕事がなくなったり、収入が減った人に保障が届くようにしてほしい。
実家からでて働いている若者が生活できるようにしてほしい。
就業保障、収入補填などを手厚くしてほしい。
収入が激減した人に対して補助を増やしてほしい。
収入が減少した人に保障をしっかりとしてほしい。
収入が減った世帯への保障
職業を失ってしまった人がいます。大問題です。この世界についていけない人の保障
住む市町によって水道代の免除など補助や支援が異なる。
生活が厳しい方への支援が必要かと思います。
生活水準の格差是正
生活様式の変化により発生する光熱費の保障
他市町では水道料の負担軽減があるのに伊勢市ではありません。公助を望む。
小さい子どもがいる家庭等には保障があるけど中学・高校生の子どもがいる家庭こそ生活費が多くかかるので同じように手厚くしてほしい。
手洗いが多くなったので水道代の減額があってもいいのだと思う。
年金を増やしてほしい。消費税を上げてほしくない。
本当に苦しい人への支援、コロナの影響を受けた人と受けていない人との差がありすぎます。生きていくための最低限の支援をしないといけない。仕事がなく困っている人の窓口を大きく開けてください。
予防や治療費の公的支援
若い人、子ども、高齢者がどのような状況にあるのかを地域ごとに把握する「動き」と「対策」をお願いしたい。
若者の生活破綻に救済の手を差し伸ばしてほしい。希望の持てる社会になってほしい。

感染し自宅待機の場合、行政からの食糧支給などあれば良い。
新型コロナウイルスの影響を考慮し、自粛要請が出る中で業務を通常通り行う業者が存在する意味を理解して政治を行なっていただきたい。つまり、国からの収入面への支援が不十分ということです。
大学に通常の通学を行わないこともあり変化に合わせた生活を送ると通常よりも費用がかかる時もある。そのような面に対して支援があると助かります。
PCR検査がいつでも受けられるとよい。
PCR検査がどこでも早く受けられるようにしてほしい。
PCR検査数の充実
PCR検査体制の拡充、ワクチンと特效薬の早期開発
PCR検査体制の充実、症状があればすぐに検査できる体制
PCR検査の拡充、発熱外来とコロナ用病院の設置
PCR検査の実施
PCR検査の充実と消費税の減税、社会保障の維持継続
PCR検査の迅速的な対応、大学生への学費支援
PCR検査の早期実施、不安な国民の期待に応えていない。
PCR検査は、もっと気軽に受けられるようにしてほしい。
PCR検査費用の補助とワクチンが普及した時の費用補助をお願いしたい。
PCR検査を医師の判断で受けられるようにしてほしい。発熱外来を小学校区に一つはつくってほしい。医療介護へのサポートを
PCR検査を受けやすくする。補償で確実に
PCR検査を気軽に受けられるようにしてほしい。
PCR検査を希望者に受けさせてほしい。
PCR検査を希望すれば誰でも受けられるようにしてほしい。光熱費にかかる税を下げしてほしい。
PCR検査をすぐに受けられるようにしてほしい。
PCR検査を誰でも受けられるようにしてほしい。ワクチンが早くできるように
PCR検査を誰もが無償で受けられるようにしてほしい。
PCR検査を増やしてほしい。
PCR検査を保険適用で気軽に検査できればと思う。早く薬を開発してほしい。
PCR検査を無料にして必要に応じて受けられるようにすること、保険料の減免、消費税5%への減税が必要です。
PCR検査をもっと充実させてほしい。
PCR検査をもっとみんなができるようにしてほしい。
PCR検査を容易にできるようにしてほしい。
PCRの充実
PCR検査の検査数を増やし、検査費をもっと安くしていただきたいです。
PCR検査の検査数を増やし検査費を安くしていただきたい。
一日も早い検査体制の確率、ワクチン開発、経済保障の法案を立案してほしい。
希望する方が気軽にPCR検査を受けられるようにすること
行政がPCR検査や予防接種などを取り入れる。
近所のかかりつけ医で、新型コロナウイルスの検査がすぐにできて安心して治療できる医療体制にしてほしいです。

<p>全ての人にPCR検査を、政とは自国の最も弱いところまで整えることです。GoToキャンペーンより生活支援をしてください。</p>
<p>全員にPCR検査をしてほしい。</p>
<p>誰でも手軽にPCR検査を受けられるようにしてほしい。</p>
<p>近くの医療機関でPCR検査などが受けられるようにしてほしい。特に高齢者や基礎疾患のある人は症状がなくても希望者が受けられるように</p>
<p>病院ですぐに検査ができるようになればよい。</p>
<p>不安な生活の為にPCR検査の普及が絶対必要だと思う。</p>
<p>もっと低価格で個人的に検査を受けることができればと思います。</p>
<p>ワクチン接種やPCR検査の希望者全員に受診できる体勢にしてほしい。更に投与薬が完成するまでのシステムがわかるようにもっと情報を伝えてほしい。現状どこまでその課程が進んでいるのかも知りたい。</p>
<p>疑われる症状のある人が確実に検査を受けられる体制を確保すること</p>
<p>給付金等金銭的支援があればうれしい。</p>
<p>給付金などの金銭的支援、社会保障の充実</p>
<p>給付金の再配当</p>
<p>給付金の追加、光熱費の軽減</p>
<p>給付金はいただけるとありがたい。</p>
<p>給付金をもう一度お願いしたい。消費税を下げしてほしい。</p>
<p>給付金を要望します。</p>
<p>生活を安定させるために給付金や物品の支給</p>
<p>全国で県外移動を禁止にしてほしい。給付金は1回では足りない。学校よりも子どもたちの健康、安全を第一に考えてほしい。</p>
<p>全世帯に現金給付が一番ありがたい。</p>
<p>全世帯への給付金の再交付</p>
<p>定期的な給付金</p>
<p>もう一度給付金をしてもらいたい。子どもが多いため。</p>
<p>もう一度給付金を出してほしい。</p>
<p>もっと給付金を支給して欲しい。消費税増税するのはいいが、その分医療費や教育費に回してほしい。</p>
<p>給付金が欲しい。</p>
<p>給付金の再支給、学費の減額</p>
<p>給付金をもう少し頂きたいです。</p>
<p>給付金を再度交付して欲しい。</p>
<p>給付型の金銭的支援を行ってほしい。</p>
<p>金銭的補助</p>
<p>出来れば住民票を移していなくても被扶養者の口座に給付金が届くようにしてほしい。</p>
<p>臨時給付金の配布</p>
<p>GoToキャンペーンにお金を使うのではなく、ホテルや旅館、飲食店にもっと手厚い補助をしてあげてほしいです。大学生の中退も多いと聞いています。中退しなくてよいように補助金を使ってほしいです。</p>
<p>飲食店などで人が入らず困っている人が多いと思う。助けてあげてほしいと願います。</p>

エビデンスにもとづいた政策
大手企業ではなく本当に困っている中小企業への支援を望みます。
経済的な理由で学業を諦める若者がでないようにしてほしい。
芸術関係や飲食関係者への支援を急いでほしい。
子どもの就職問題、少ないので困っています。
コロナ感染が終息してからG o T oキャンペーンをするなどして税金を有効に使ってほしい。
コロナの影響による経営被害を下支えする様なサポートをぜひ、そのための予算をしっかりと計上してください。
コロナの影響で大きな打撃を受けた観光業を回復させるためにG o T oキャンペーンをもっと進めてほしい。コロナの実態などが分かってきているから新しい生活様式は無くしてほしい。今までの生活を返してほしい。インフルエンザと同じような対応を求めます。
仕事をなくした人たちへの対策
消費税は上がったが、給料は変わっていない。
政府が国民の立場に立ってお金を出すべきだ。仕事をしたくても仕事がない人、店を閉めなくてはならない人、そのほかコロナのために傷ついている人の保障をするべきだ。国民の声を聴くべきだ。
大学生や高校生、小中学生の勉強や就職が心配です。親の貧富の差なくと、願っています。
タイムリーな法整備など、迅速な対応を期待したい。
中小企業、飲食店、個人経営のお店など、地域で活躍されている企業やお店がコロナの影響で閉店・閉業になります。救済措置を強く望みます。
中小企業や事業者が倒産しないよう支援、小中学校や高等学校での少人数教育を
店舗など制限のある所への補償は公的にやるべきと思う。
若い世代の人たちが職を失うことのないようにお願いします。
若い人たちの就職や生活が安定すること
学生に限らず、全業種の所得保障をしなければ社会生活を維持できない。コストカットじゃなく真面目に仕事しろ。
就職支援
貧困に陥る人が増えないように対策をしてほしい。
軍事費や大企業減税に使うお金を業者や収入が減った人たちに保障してほしい。菅さんが言っている消費税の増税に反対、絶対に許さない。
県や市町が発表する感染者情報をもう少し詳しくしてほしい。補助金や助成金、給付金等の莫大な国費が消費税の増税や復興税のようなもので生活に響かないようにしてほしい。
高齢世代への支援。暮らしの安定・安心。税金は有効に使ってほしい。ツケを国民にまわさないでほしい。
国家予算の無駄な使い方による増税が心配
これ以上消費税を上げないでほしい。
これ以上増税等負担が増える事は止めてほしいです。
これ以上の増税がないように、みんなが安心して生活できるコロナ対策
コロナ対策で資金を投入するのは仕方がないが後々税金を上げてくるのが目に見えているので将来に不安がある。足りなくなったら吸い上げるのは止めてほしい。
コロナによる出費が増えている。消費税が上がらないか心配である。これ以上の増税は耐えられない。

消費税は、これ以上絶対に上げないでほしい。
消費税の増税が生活に影響してくる。上げない方向で考えてほしい。
消費税の増税は困る。
消費税の増税は、しばらくはしないことを望む。
消費税の増税は生活に大きくひびく
消費税の増税反対、高齢者の生活保障
消費税の値上げは家計にはかなりの負担です。もうこれ以上の値上げはしないでほしい。増税しなければ国としてやれないのであればもっと無駄の見直しをやって国民の理解できる予算計画を立ててほしい。
消費税はこれ以上、上げないでほしい。
消費税を8%に統一、これ以上増税しないでほしい。医療費負担1割の継続
消費税を上げるという話を聞きますが、ますます消費が少なくなります。経済が回らなくなるのではないですか。
食費や消毒関連の消耗品の補助があるとありがたい。コロナ対策にかかる費用が今後の増税につながらないことを望みます。
消費税はもうしばらく、このままであればありがたい。
ステイホームで外食などが少なくなり家飲みなどが増えストレス発散につながった。だが税金が増えることに納得できない。コロナが落ち着くまでは増税反対
税金等が増えるのはもう少し待ってほしい。
増税、年金支給額の減額はしないでほしい。
年金の削減と消費税の増税は困ります。
医療関係への支援を望みます。
医療関係への人的、金銭的支援
医療従事者が働きやすくなるよう、みんなの理解とやさしさを分かりやすく伝えてほしい。
医療従事者に手厚い支援をしてあげてほしいです。
医療従事者への支援
医療従事者や救急隊の人たちへの手厚い援助を望みます。
医療従事者や福祉事業者、救急隊員への支援の増加
飲食店や宿泊施設の方は大変です。医療従事者、介護施設の方へのマスクは国から支給すべきだと思います。
コロナの影響で困っている人、医療関係者に手を差し伸べる社会保障をもっとしてほしい。
コロナの影響で仕事を失った人や医療従事者の方々に手厚い補償をしてあげてほしい。
コロナの患者さんに携わる医療関係者の方々に金銭的支援を望みます。
サービス業や飲食業等、お客様減少の痛手を受けている方々には何らかの補助金をもっと手厚く、医療や介護、運輸、葬祭業で頑張っている方々にも保障を
病院関係の方々への手厚い援助を望みます。
本当に困っている人に支援を、医療関係者に手厚い支援をしてほしい。無駄な行き当たりばったりの施策はやめてほしい。
マスクや消毒液、ティッシュ等々が急に手に入らなくなり不安になりましたが医療現場や介護施設等、絶対に必要な人たちが不安にならないような対処を、また税金の使い方が雑だと思います。

ワクチンの開発や医療従事者への手当など正しくお金を使ってほしい。
企業やお店が頑張れる社会保障を希望します。
経済が落ち込む中、社会保障は後退することがないように望みます。
健康保険の負担を2割にという声が聞こえてきているが絶対に現状の1割を守ってほしい。もしくは75歳以上は無料にしてほしい。
コロナ禍の影響を受けている人への社会保障を望みます。
社会保障の充実
社会保障はしっかりお願いしたい。PCR検査を受けられるようにしてもらいたい。
社会保障は必要な人に届くように、個人が自分でも対策がとれるように働くしくみや自助のしくみを考えていく
社会保障を切り下げるな。
社会保障を充実させてほしい。
対策と保障を同時に平衡で進めてほしい。
福祉の充実
社会保障を充実させてほしい。
G o T oよりも医療機関への補助金などに力をいれてほしい。
医師の数を増やしてほしい。
今病院に入院しているが、症状が安定すると一箇所に留まらず次の病院へ移動しなくてはいけない。近くで留まることができないとたいへんです。
医療機関への援助
医療を守ってほしいです。
コロナ感染者の治療は無料にするべきです。困っている方たちへの給付金の支給を願う。
コロナ感染者への宿泊施設の充実
コロナに感染した場合の受け入れ施設の確保が心配です。
政府からの情報が遅い。物品の安定と医療の充実
とにかく不安に感じたらすぐに医師に見ていただけるよう医療体制を万全に整えていただきたいです。
発熱外来をつくってほしいです。
病院への受診、発熱外来はどこでおこなわれているのか、保健所への電話や問い合わせだけでは不安です。
今一度、税収の使い方が適切かどうか判断し、中小企業や社会的弱者、医療現場への支援をより手厚くしてほしい。支援の受け方が広く知れるような情報提供に尽力してほしい。病院の不要な倒産は必ず防いでほしい。
中曽根元首相の葬儀や防衛予算拡大などに多額の税金を使うのではなく、コロナ対策をはじめ医療、公衆衛生や社会保障など、国民の命と暮らしを守る政策のために税金を使ってほしい。
アルバイトができないために生活が苦しく、学業の継続が危うい学生がいるということを知りました。本当に困っている人たちには支援を惜しみなくしていただきたいです。
オンライン授業しかならないなら、学費を安くしてほしい。
学費等の補助
大学生への援助
大学のオンライン授業は仕方ないのかもしれないが、普通の授業料を支払うのには抵抗がある。返してほしい。

国立大学の学費を下げしてほしい。オンラインになり、授業の質が低下した。通信大学と同じに思えてしまう。
食品・日用品・書籍等の減税、学費補助、社会保障費に潤沢な資金を投入してほしいです。
生活支援ではなく大学の設備等が利用できなかったことによる、本年度の学費の補償策
対面授業が行えず、遠隔授業も十分な内容とはいえないため、全大学の授業料を総額の1割や2割でも減らしてほしい。
G o T o トラベルよりも、まずは困っている人への支援を先にしてほしい。飲食店、観光業への補填をしっかりとしてほしい。
一番困っている人に税金を使ってほしい。
困っている人たちに手を差し延べてほしい。
困っている人たちにもっと支援を続けてください。
困っている人たちをできる限り救ってあげてください。
困っている人に手を差し伸べるのに声が届いていない方もいる。
困っている人への経済的な早い援助
失業や収入減の人は多いと思います。生活保護は受けやすいようにしてください。生死にかかわることがあります。
弱者にしわ寄せがいかない仕組みをお願いしたいです。
弱者への手厚い保障
収入が減った人に確実に保障が届くようにしてほしい。
収入減家庭ひとり親家庭への支援をしっかりとしてほしい。
生活弱者にとってG o T o キャンペーンは何の得があるのか。
生活に困られている人に支援が確実に届くように望みます。気持ちの上で孤立されている方が増えないような手立てをしっかりとって頂きたいです。
税金を一番困っている人に使ってほしい。
低所得者への支援
本当に困っている人や施設などを支援してほしい。G o T o キャンペーンはお金と時間がある人だけが利用できる。
感染した方へのバッシングを許さない強い姿勢、感染しても社会生活に戻れるように経済的にも不安のないようにしてほしい。
コロナ感染者が出ても住所や年齢など公表は控えてほしい。嫌がらせがすごいと聞きました。クラスターの場合は情報を知らせる必要もあるかもしれませんが
コロナ感染による誹謗中傷がなくなるようにしてほしい。
コロナにかかった場合の差別や偏見に対して条例などで対処してほしい。
コロナに感染した場合に住みづらくなる。情報がどこまで守ってもらえるか。
差別が生まれないような報道に気をつけてほしい。
持病があるのでいつ感染するかわかりませんが差別はないように行政や自治会の人々に勉強会が必要でしょう。
新型コロナウイルスに感染した個人やその属する組織に対する差別がないよう、社会に広く伝えてほしい。
年金を引き下げないでください。
年金を減らさないでください。
将来、年金を満額貰いたい。
G o T o キャンペーンでクラスターが発生した時の政府の対応を周知してほしい。

G o T o キャンペーンで日本中に人が動き出すようで心配です。
G o T o キャンペーンという制度が、それで生計を立てている商売の方々の利益にという一点であれば反対しにくいですが、第一にウイルスの収束が前提だったのを、さらに前倒しにしたことはおかしいし、そもそも大手が金儲けにつながるというしくみ、現在の自民党政権のしたがる手法—大企業への利益誘導—が最大理由ではと考えてしまう。やり方がおかしいと思います。
G o T o キャンペーンは余裕のある人だけが行けると思う。
アベノマスクのように要らないところにお金を使うのを考えてほしい。
あまりにも経済を回すことに重点を置きすぎ、感染したら危険が大きい高齢者への配慮が足りない。
伊勢市の病院にエクモを設置してほしいです。
医療費や年金への影響が心配
お金の使いみちが情けない。マスク等配布せずに医療費に、子ども達への教育方法の見直し等、今までにない対策を行政に望む。
介護保険料が負担増になっています。
現在何が重要か政治家の方々は先を見据え判断をお願いしたいと思います。無駄なことも多いと思います。
高齢者の治療までのスピードアップをお願いしたい。
国内のサブカルチャーのダメージが深刻、何らかの保障が望まれる。
国民からの血税は正しく公平に使ってほしい。
国民のために消費税や国税を使うべき、本当の政治家が現代社会に存在しないと感じる。
子どもを守ってほしい。学校や授業のすすめ方を市町に任せるのではなく政府が動いてほしい。
コロナウイルス関連の予算があるからと無駄遣いは止めてほしい。国の借金を増やさないでほしい。
コロナウイルス対策のためデイサービスの料金が改定され上がりました。早く元に戻してほしいです。
コロナ感染防止の費用は、施設任せでなく国の費用ですべき。
コロナに乗じて国民総監視や背番号制の強制などがなされないよう施策については十分注意してほしい。
コロナは災害だと思う。激甚災害だという認識で対応しなければならないのではないのでしょうか。
今後のウイルス対策に備えるための原資確保、法人税を20年前の水準に戻す。
こんな時にG o T o トラベルなんて政府が信じられない。この国これでいいのか、英語の文法も間違っている。
時間をかけずに給付等は早めに対応してほしい。
市町行政の取り組みが何をしているのかよく分からない。
社会保険料が上がるのか、この時期なので延期してほしい。
消費税が10%になったことはどうすることもできませんが、還元する形をもう少し広げていってほしいと思います。
消費税の増税は致し方なかったが、それに代わるポイント還元等を延長してほしい。
消費税を引き下げると混乱が生じてかえって面倒、政府や行政は見通しのよいというか開放されクリーンで公明正大であってほしい。

消費税の使いみちをしっかりとしてほしい。
庶民が前向きになれる政策を打ってほしい。今のままでは人の気持ちが縮む。
正確で迅速な情報公開を望みます。
生活支援金を受け取ったが世帯主にまとめて振り込まれるので家族は実感が薄い。
税金の無駄遣いをしないようにお願いします。研究者を大切にして支援をしてあげてください。
税金を上手に使ってほしい。
政府はG o T oなど無駄なお金の使い方をしすぎている。もっと困っている対象に焦点をあてた政策をしてほしい。
政府や行政の態度が理解しにくい。
拙速をさけて慎重に状況を見極めてほしい。
全国民が安心して暮らせるように手立てをしてほしい。
それぞれ事情があるので個々に対応してもらえる窓口がほしい。
大事な国民の税金なので使い方を考えてほしい。
地方と国が協力し合うこと
都度考えて対策していると思う。コロナ保障の金額が仕方ないとはいえ多額なので子ども世代に負担をかけたくないとは思いますが。
手続きの簡素化
望んだとしても今の政府だと何も変わらないと思うので自分でできることを粛々とおこなうのみです。
早く元の生活に戻れるようにしてほしい。
不安をあおるような広報や報道をやめてほしい。
本当に必要などころに手が差し延べられるようなきめ細かい施策とフォロー体制の充実が必要だと思います。
マスクの配布は不要だった。国民が何を望んでいるのかをよく考えてほしい。
もう少し国民の方に目を向けて知事さんたちを助けてあげてほしい。
もっとスピード間のある行政を望みます。
役所からこの先に関する取り組みが知りたい。
予算の配分や支援先について納税者への理解、説明を公開してほしい。場当たり支援は止めてください。
レジ袋を無料に戻してほしい。
私たちは常に自助努力で暮らしています。国のお金は私のお金です。政界の人の個人的な援助で生きているのではない。前政権の使い散らしたお金を返すことから始めてほしい。
我々の身近なことに対する対応をしてほしい。
一般的な感染症として扱ってほしい。致死率も非常に高いわけでも無いのに何故なのか。コロナを取り上げるなら他のHPVワクチン接種等についてもっと積極的になるべきだと考える。
新型コロナウイルスで使用した費用を将来の借金にしないために、早めに財源確保をしなければならぬと思います。
大学に行きたい。
大学の対面の再会
大学の対面授業可能にすること

資料4、地域や、お住いの近隣で助け合いが必要と思われること

*同じ意見はまとめています。

G o T o トラベルに東京も加わるようになって誰が感染してもおかしくない状況になってきた。みんなが優しい気持ちをもてるといいなと思います。
明日は我が身の精神で、感染された方を応援、見守る気持ちをもってほしいですね。
いざとなると自分のことで精いっぱいになる。せめて地域や近隣でS O Sを出したり助けを必要とされたり、そういうのが許されてほしい。
田舎に行けば行くほど感染者への誹謗中傷がひどい。
買い占めるなどの行為はせず必要な物資などは譲り合う気持ちが必要だと思う。
過剰な反応はしない。
感染差別をまずはなくすべき
感染してしまった場合、差別、批判などない社会にしたい。
感染者宅への嫌がらせをしない。
感染者の差別をなくす。
感染者への差別をなくしていくようにすること
感染者への誹謗中傷の抑制
感染者への誹謗中傷は絶対してはいけないことです。
感染者への偏見が絶対に起こらないように
感染者や家族への偏見や差別、誹謗中傷のない世の中になるように助け合いの気持ちが必要だ。
感染者やその家族に攻撃的な言動を慎むのは最低限必要だと思う。
近隣で感染者がでたら、その人のことや家族の身になってあげられるようにしたい。
コロナ感染者になっても近所どうしの人には温かい目で見守ってあげたいと思います。
コロナ感染者への気遣いが必要
コロナにいつかかってもおかしくない状況なので、かかった人を責めたり排除したりすることのない環境づくりも必要だと思う。
コロナに感染した時、差別されないようにしてほしい。
コロナに感染した時こそ、その方を応援すること
コロナに感染した場合の周りからの誹謗中傷がないようにする必要がある。
コロナ感染による差別などへの対応
差別が生まれにくいような一人ひとりの思いやり
差別のない近所づきあいができること、自分勝手がいかに多くの犠牲を生むかということを感じられる人を多く望む。
自分だけよければよいという人が増えすぎている。もっと他の人のことを考えられる人が増えてほしい。
真のあるべき姿を求める行動が全員に求められています。
全員で乗り越える気持ち
助け合う心が持てるようになっていきたい。
地域で気にかけていく必要があると思う。
地域での活動について新しい生活様式が取り入れられてきているが、全員の意識を合わせることが難しいと感じています。もっと協力できる環境にしていきたい。
地域でのデマや差別は絶対にあってはならないこと、他人の立場に立つことをみんなで考えて行動する。

一人ひとりの心づかい
誹謗中傷がない優しい心を育てていく必要性
誹謗中傷がないように
風評で日常のくらしができなくなることがないようにする必要がある。
もし感染したら、ご近所などで優しく見守ってほしいです。
やはりコロナになったとしても、心配しても責めたりしてはいけないなど、それも助け合 いだと思います。
感染時の風評被害の鎮静化、自殺者が出ている。
医療福祉生協ができることを行政と協力して行っていく。独居の方たちへの支援が必要。
遠方の子どもたちがコロナ感染を心配して帰省できないでいる。高齢者の方が年に何回か の帰省でもらっていた家の周りの片づけなどができずに困っているようです。
外国籍の両親の家庭では、必要に応じた休みがとりにくいため小学低学年や幼保の子ども だけで留守番をしていることが多くみられる。子どもの見守りや預かり等の事業が広がれ ばよいと思う。
買い物しやすい街にしてほしい。移動販売など
買い物や通院での送迎の助け合い
感染リスクの高い方や高齢者の方が安心して生活できるよう、買い物代行や通院交通費の 補助など
近隣での病気への対応、くらしの対応
近隣では年金生活者が多いので経済的な変化はありません。感染者が出れば買い物を届ける 等の助け合いは必要かと思います。精神面でのサポートができればよい。
車に乗れない高齢者に銀行や買い物の援助がほしいとのことで協力した。
検査などスムーズに受けることができ、その検査施設まで行くとき移動手段の介助を必要 としているので対策を考えてほしい。
高齢者がコロナ感染した場合のレスパイトケア
高齢者への支援の必要性を感じます。
子育ての支援
コロナに限らず、それぞれ困りごとがあるので限られた人を助けるのも難しい。報道され ていないことでも助けが必要な方がいる。
コロナに感染した際に買い物の依頼ができるシステムがあるとうれしい。
コロナに感染した時の買い物
自分がコロナにかかったら家族の面倒が見られません。
弱者に温かい支援をお願いします。
弱者に対するフォロー、学生に対する精神的フォロー
職を失った方への支援、状況の把握
少し前は自分たちが感染しないことを第一に考えていましたが、今はもし自分や周りの人 がコロナに感染したらどうやって助け合うかを考えるようになりました。
生活支援（部屋の掃除、庭の手入れ）、移動の支援（足の問題）
生活支援、くらしが成り立たず地域の支え合いを、どう確立するかが重要
体調が悪い場合に近隣での助け合いがスムーズにできるようにしてほしい。
バス停や駅が遠いので車に乗れなくなった時が不安です。
一人暮らしの方々へのサポート
ひとりくらしの方への援助

ひとり暮らしの高齢者や子ども達の命を守るよう近所同士で何か助け合いができればと思います。
ひとり住まいの方へのフォローが必要と考えます。特にメンタル面で
一人ぼっちになっている人を援助する。
病院へ通院している近所の方が、足が不自由で困っているので何とかシステムをつくって便利にしてほしい。
貧困家庭への支援
不要になったものをリサイクルし助け合う。
不用品などの分けあいがあれば
ベーシックインカムなど社会的格差を縮小する政策を展開する。
母子、父子家庭、収入減少で生活困難な家庭、様々な暮らしを守っていただきたい。
免許証を返納し公共交通機関が削減された場合、地域ぐるみで乗り合いができるとうい。
高齢者への支援、見守り
3密を守りながらのおしゃべりが気持ちを和らげます。
一週間に一度、顔を合わせる生協のグループ購入は安否確認にもなる。
イベントや憩いの場が今はなくなってきており、地域のつながりが希薄とまらないような取り組みが必要であると感じる。
今までと同じように近所付き合いをすること
お互いのコミュニケーションを増やすこと
近所付き合いが希薄になっている。
近所付き合いが希薄になっている。町会、老人会などの活動が大切
近所付き合いを大切にしようと、これまで以上に思うようになりました。
近所での交流が大切、買い物などを助け合う、生活リズムを少し変えて生活する。
近所の方たちと助け合い、お料理をあげたり、もらったりしています。
高齢者が集まれる場所づくり
高齢者の認知症が増えていると聞きます。3密をさけて顔を合わせる機会があると思います。
高齢者のふれあいの機会を減らさないようにしている。時間をいつもより短くしている。
孤立しないために「つながり」が実感できる方法を考えないといけない。
ソーシャルディスタンスを心がけすぎて近状付き合いが難しくなってきたのが気になります。
地域がつながれないのはストレスになると思う。
地域で助け合って何かをする。食べ物を届けるとか何かしらできるのではないかな。
地域の仲間づくりができています。
地区イベントもすべて中止、コミュニケーションの大切さが身に染みて分かった。
町内会行事がすべて中止になり、近所どうしのたすけあいの大切さを改めて感じた。
町内会レベルのチームコミュニティのメンバーが力を出し合うことを望みます。メンバーの弱点をチームで補い、他チームとネットワークをつくることで非常時にも強い地域が築ける。
電話で友だちと話し、自分と違う考えを聞く。
人との接触がダメという今、助け合うことは難しいと思いますが、テレワークなどで話をして会話するシステムをもっと広めてほしいです。
人とのふれあいがこんなに大切だった事がよくわかった。

ひとり暮らしのお年寄りが益々孤立されないような助け合い
ひとり暮らしをしている高齢者や近所との日頃の交流など欠かさない。
一人ひとりの思い、行動が社会とつながっていくと思います。万が一の時も社会全体であまり刺激のない生活をとと思う。
普段から地域の人との挨拶を心がけ、話ができやすい雰囲気の中から何でも相談しやすくすること
密ではない人とのつながりが大切と思われる。
民生委員の方から訪問を控えると電話があった。訪問で会うことが難しくなりましたね。
昔ながらの近隣の助け合いがない。孤独である。
もし我が家でコロナが出た場合、生活はどうなっていくのだろうか心配です。近所の人のがとても大切だと思います。
横のつながりが必要。地域でもしコロナにかかった人がでた時の対応等を考えておかなければならない。
一時期マスクが手に入らず、とても苦勞しました。マスクや消毒液など必要なものが、多くの人にいきわたるような対策をしてほしいです。
近隣で感染者が出た場合、地域自治会の役割は大きい。
個人で感染しないように気をつける。
コロナウイルス、インフルエンザの予防接種が平等に受けられるようにしてほしい。
コロナを機会に感染防止
災害が起こった際の避難体制を確認しておく。
集合住宅の感染防止対策が必要
新型コロナウイルスの感染が終息するのを願うばかりです。
新型コロナに感染した場合の風評被害防止
スーパーのカーットの取手を拭ける除菌シートを置いてほしい。
スムーズなPCR検査体制とワクチンの開発
対策の徹底
正しい理解と予防対策
地域で通いの場をおこなっている。高齢者が多く、毎月開催日を前にスタッフと悩んでいます。
近くで感染者が出た場合、どう受け入れて対応していけばいいのか。
町内での感染者が人々の心ない言葉や行動で住めなくなり引っ越しをされたと聞きます。いつからこの国はこんなになってしまったのか。正しい情報や知識の普及が必要だと思います。
店舗の入り口に手動ではない自動の消毒液を設置してほしい。
隣近所でもマスクをつけて守らなければならない。
人に感染させないように行動することが大事です。
一人暮らしの人、ITに知識がない人等が、置き去りになっていかないこと
一人ひとりが新しい生活様式になれ、心がけていくしかない。
一人ひとりの予防意識を高め、ウイルスに関する正しい知識を身につける必要があると思う。
病気に対する正しい理解のもと、地域の中で疎外感のないように心がけたい。
風評被害をもたらさない心構え、正しい情報と正しい対応の仕方
みんなが困らない生活様式も考える。

目に見えないウイルス感染を防止するのに助け合いをしていたら感染リスクが増す。個々で対策するしかない。
老人ホームに面会に行っても面会ができません。感染対策で面会できると思いますが今の状況はあまりにも行きすぎです。
個々での感染予防に心がけています。
密集は避ける。
お互いに声かけをする。
お年寄りには声掛けが大事です。
外出を自粛している人が多いので声を掛け合ったりすると気持ちが晴れると思う。
近隣での声かけが必要だと思います。
近隣の人に野菜を届けてもらったり声をかけてもらったりして感謝して生活している。
高齢者には直接顔を見て、声を掛けニーズを拾い上げ、応えてくれるシステムが残ってほしい。
声かけ、命を守る活動
子育て中の母親や高齢者に電話などで声をかけて孤立しないようにする。
災害時や急病の時、近所の声掛けや助け合いが必要だと思います。
自治会をしていた時、一人暮らしの方が何日か家で寝たきりであった。仕事以外での声掛けだと思います。
電話での声のかけあいが一番よいのかと
日頃の声かけが様々な助け合いにつながっていくと思う。
一人暮らしの高齢者が元気にしているのか、困っていないか、声掛けが必要かだと思います。
お互いに安心して生活ができるように国民全体をチェックしてほしい。
お互いの安否確認
地域ごとに高齢者宅の訪問も必要ではないでしょうか。
高齢者が感染を恐れ家で過ごす時間が多くなっているため近隣の住民が孤立していきないうように見守っていかねばいけないと思います。
高齢者が外に出なくなり孤立している人もいると思いますが、その人たちを見つけられません。ご近所の力の見せどころです。
高齢者が集うサークルがすべて中止になった。お互いの安否が確認できず心配になる。
高齢者のお宅では困っていることがあるのではないかと。近所どうしの立ち話もなくなったので、助けてあげられることがあるのかさえ分からない。
災害時に被害を受けた時の対応
自粛で高齢者のひきこもりに気をつけないといけない。
単身者が孤立しないように努めたい。
独居老人の見守り
一人暮らしが多くなっている。介護の車の出入りで見守りができているのではと思う。
一人暮らしのお年寄りの安全安心を見守りたい。
一人暮らしの高齢者の外出が減り、人と接することが少なくなり気持ちが沈んでしまうのが心配です。
近隣でコロナ感染者がでた場合に知らせてほしい。イジメは許すべきでなく、それこそが厳に罰せられるに価すると思います。
高齢者でも参加できることがあったら教えてください。
ご近所さんと顔を合わせ、会話を少しでもして情報収集したい。

仕事が減って困っている人と、人手不足で困っている人とのマッチングができる組織
情報共有のスピード感、一人暮らしの高齢者への支援や手伝い
情報弱者に対して正しい情報が伝わる仕組みが必要だと思う。
情報の共有、飲食店のテイクアウト利用など
正しい情報の共有
どの家でとまでは思わないが、せめてどの地区でコロナが出ているのか情報を出してほしい。
年配の方を援助する点で、生協さんのような事業者がいるのはよいと思う。買い物や病院の送迎など生協さんの「たすけいあい」もあるので、そういうことをもっと知っていただくとよいかも。
補償関係の周知が不十分なのでアナウンスしてほしい。
高齢化が進んでいる地域では情報の周知が大切で皆で必要な情報を共有したいです。
今まで築かれている「助け合い」が難しくなっているのではないか。個々が孤立してしまうのではないか。この状況のなかで「必要と思うこと」を考えるのは難しい。
近所を訪問するのもためらわれるので助け合いそのものが難しい状況です。
コロナの正しい情報がない限り、3密を避けると言われ続ければ助け合いなどできないのが現状です。
自治会の行事も中止になっている。近所づきあいも難しい。
助け合いは必要だと思いますが難しい事だと思います。
隣の人とも顔を合わせない状況である。助け合いと言われてもなんとも言えない。
なるべく動かないこと、不安だが解決しないし悩んでも何も変わらない。
笑顔で会話できればと思います。
学校でのオンライン授業の充実
キャッシュレス決済の浸透にデジタル格差が見られるが、その格差をなくす取り組みが必要だと思う。お金からの感染も心配になると思う。キャッシュレスを進めるべきだと思う。
近所では付き合いがなくなり疎遠になったが何ら変わりがないことに驚いている。また不自由でもないことに気がついた。
桑名市では、まちづくり協議会をつくって地域の取り組みを強めようとしていますが、住民への丸投げで進んでいません。ここの対策が必要と思う。
現在SNSなどの活用で食品ロスをなくすために情報発信がされている例がいくつかみられますが、収入源のお店の商品を産業フェア的にもっと県や市町が支える手立てが打てないでしょうか。もちろん3密対策した上で
子どもの家庭それぞれの危機感が違う。
地震や台風に時、協力しあえるか心配です。
自分が必要になるまで気がつかないと思う。
自分を、社会を見直し、本当に助けが必要な人を見極めましょう。
地元での消費
食や農に携わる方々の失業を止めていかないといけない。地元製品の消費が大事
知り合いの店で買い物をするようにして、テイクアウトなどで少しでも収入アップに貢献したい。
外に出る機会が減ったが生活にあまり変わりはないように思います。
近いところでランチ等を行える店があれば良いと思う。
病院等の利用、個人事業主への支援

病院や施設に入っている方とタブレット等で面会ができるとよい。
貧富の差が激しくなっている。
本当に助けを必要としている高齢者等の弱者救済のネットワークなどの構築が重要である と考える。
老人の地域活動への配慮がほしい。
老人は年金暮らしでたいへんと一辺倒な回答はあり得ない。困っている老人と富裕な老人 との差、政府の一律給付に疑問。スピードと言うなら一旦一律給付し年収によって返金、 困った人に再給付したほうがよい。
若い人が少ないので事業者も困っている。漁業の衰退が著しいので関連の仕事も落ち込ん でいる。人口減がとても暮らしに影響してきている。
運動会や体育祭などの学校行事がなくなり、成人式もなくなる可能性が出てきた。分散し ても良いので行事を行えるようにしていただきたいです。
学生が多く住んでいる地域の騒音問題
自助・共助より公助を充実させるべきです。公助あつての自助・共助だと思います。

以上

暮らしへの影響に関わる調査報告書

発行日：2020年10月20日

改訂版：2020年12月4日

発行者：三重県生活協同組合連合会 理事会
会長理事 上野 達彦

事務局 橋本 直行

〒514-0009 三重県津市羽所町 379 番地

Tel 059-228-9913 / Fax 0589-228-9915